

Shinobugaoka
2015

忍ヶ丘



宮崎学園短期大学
Miyazaki Gakuen Junior College



Contents

◆学長所感

眼前の、創立50周年を祝す 学長 山下 忍……………1

◆新しい学科編成・地域とともに

短大2学科体制(保育科・現代ビジネス科)へ
～英語、国文、初教、音楽ありがとう～ 副学長 宗和 太郎……………2

最後まで一人一人のよさを活かし素晴らしい人生を
初等教育科二年学級主任 宮崎 弘尚……………3

卒業生さらば!“心に太陽を!唇に歌を”
音楽科長 末平 浩康……………3

◆オープンキャンパス……………4

◆生涯学習推進委員会

子育て支援セミナー
子育て支援セミナー担当 守川 美輪……………6

高齢者いきいき講座
生涯学習推進委員 後藤 祐子……………6

ニューライフ・アカデミー
生涯学習推進委員会委員長 後藤多津子……………7

◆保育フェスティバル

保育フェスティバル実行委員 後藤 祐子……………8

保育科 2年E組 田中 杏奈……………8

◆保育研修会

保育研修会担当 中武 亮子……………10

◆短大生活 365日

【学友会活動】

学友会活動……………11

感謝 学友会会長 井上奈々美……………12

学友会活動 学友会副会長 久徳 貴史……………12

学友会活動を振り返って 学友会副会長 外山 真衣……………13

学友会を終えて 春の忍ヶ丘祭実行委員長 下園 裕乙……………13

秋の忍ヶ丘祭を通じて 秋の忍ヶ丘祭実行委員長 長友さゆり……………13

【人間文化学科・現代ビジネス科】

国文四十八年 人間文化学科 国語国文コース 2年学級主任 後藤多津子……………14

図書館実習から学んだこと
人間文化学科 国語国文コース 2年 石山 清徳・上米良由紀……………14

堀川 真彩・堀田 陽郁

宮下 慧子・宮田 昌樹

一年を振り返って 現代ビジネス科
ビジネスコース 1年 布施 寧々……………14

二年間を振り返って 人間文化学科
医療事務・医療秘書コース 2年 坂元 理紗……………15

【初等教育科】

就職が決まって 2年 緒方 敬士……………16

～大学編入にあたって～
『花は咲く』 2年 渡邊あかり……………17

【音楽科】

届けたい音楽 2年 戸高 由貴……………18

短大生活を振り返って 2年 今村 美月……………18

私の道 2年 馬庭ちぐさ……………19

就職するにあたって 2年 中竹 幸乃……………19

【保育科】

はじめの一步 2年A組 藤崎 美奈……………20

社会人としての心構え 2年B組 長田 侑磨……………20

施設実習で学んだこと 2年C組 芝吹 香澄……………21

短大生活を振り返って 2年D組 坂元 志帆……………22

専攻科進学にあたって 2年E組 川東 珠子……………22

たくさんの笑顔に囲まれて 2年F組 竹崎 愛……………23

【専攻科】

福祉専攻科での一年間を振り返って
福祉専攻 黒木 愛莉……………24

本物になるために…
音楽療法専攻 岡崎美智子……………25

【忍ヶ丘寮】 寮長 石角 怜那……………26

◆教員免許状更新講習会……………27

◆保育士資格取得特例講座……………27

◆平成26年度 就職状況 就職指導課……………28

◆新教職員紹介

専攻科 木村 匡登……………30

音楽療法専攻 倉岡 豊実……………30

保育科 現代ビジネス科 兒玉 京子……………30

保育科 白石 知子……………30

現代ビジネス科 武村 順子……………31

現代ビジネス科 柳田 健太……………31

清武みどり幼稚園 吉村久美子……………31

専攻科 渡邊 尚孝……………31

音楽療法専攻

◆入試広報部新任紹介

教務課長 河野 豪……………32

入試広報部 次長 高山 正和……………32

入試広報部 次長 森重 文一……………32

◆サークル活動紹介

「宮短、4年ぶりの全国大会のステージ」 専攻科 音楽療法専攻 岡崎美智子……………33

「おもてなしの心で」 茶道部 部長 枇杷 琴乃……………33

「吹奏学部 平成27年度の活動について」 人間文化学科 国語国文コース2年 石山 清徳……………33

「文芸・漫画研究会の活動報告」 保育科 2年C組 楠本 剣美……………34

「ひだまり部★」 人間文化学科 国語国文コース 2年 宮田 昌樹……………34

「和装サークル」 保育科 2年E組 森 春佳……………34

「百人一首部」 百人一首部 部長 増田 菜穂……………35

「バレーボールサークル」 初等教育科 2年 谷口 千紘……………35

「Hey! Ryo! Sports!」 保育科 1年D組 下別府加奈……………35

「卓球同好会の活動報告」 顧問 岩切 徹志……………36

「野球サークル」 保育科 1年C組 宮下 鷹空……………36

「来たれ!フットサルサークル」 初等教育科 2年 谷口 千紘……………36

◆平成27年度オープンキャンパス

7・8・3月の3回開催!……………37

◆しのぶ会だより……………38

学長 祝
眼争の、創立50周年を祝す
学長 祝

かなしみの数だけとる仮設の灯
ちさくこぼれて雪の降りつむ

美原 凍子

冒頭の短歌は、この正月、朝日歌壇に選ばれていた秀歌の中の一首です。口をすぼめ、小さく声を発して読んでいると、福島
の哀しみがしんと伝わってきます。

平成二十六年度のこの一年も、本学には
こうした悲しみはなく済みました。北国
の各地が、深い雪に閉ざされて、まさに悪
戦苦闘している時も、私たちのこの宮崎の
地は、至って過ごし易い毎日でした。

こうした状況に感謝しながらも、私はこ
の頃よく、「甘えてはだめなんだ」と同時
的に思っています。何も無理にわが身に鞭
を当てようとは思いませんが、それでも苦
労なく与えられた恵みに甘えてはならない

のだと思うのです。生活するのに何かと不
自由な東北の地で文化が花開き、真冬の季
節でさえも過ごすのにさしたる苦勞もない
この地が、何かにつけて遅れている。この
ことを、南国の私たちは、より厳しく心得
ておかなければならない。そう思ったりも
しています。

四月を迎えると、いよいよ創立五十周年
の記念の年となります。「論語」が語る「知
命」の年です。私は、本学が掲げてきた「日
本一の地方短大」は、「天命を知る」の「天
命」の一つであったかと、この頃折にふれ
て思います。どの大学にも負けない大きな
努力を払って、どの大学よりも魅力一杯の
大学となる。教職員は、寸刻を惜しんで教
育の充実に努め、学生たちも、世間が驚嘆
するほどに、己の心を厳しく鍛え、勉学に
精励する。そして、日本一の地方短大とな
る。いい願いだなと思います。求め、願う
に足る夢だなと思います。

創立百周年に向けて、今後の半世紀を夢
多く、かつ、北国の厳しさを抱きながら生
きていきたい。そう願っています。

新しい学科編成・地域とともに

短大二学科体制（保育科・現代ビジネス科）へ

（英語、国文、初教、音楽

ありがとう）

副学長 宗和 太郎

●五十年の歴史

宮崎学園短期大学は、創立五十周年を迎える平成二十七年より、保育科（定員二一〇名）と現代ビジネス科（定員五〇名）の二学科体制になります。

歴史を振り返りますと、昭和四十年に本学は保育科一学科で誕生しました。その後、国文科（昭和四十一年）、初等教育科（昭和四十二年）、音楽科（昭和四十五年）を次々に設置し、更に英語科（昭和六十一年）を誕生させました。学生数が最大だったのは平成五・六年の頃です。その後、十八歳人口は下り坂を辿り半分近く減りました。平成十五年には、国文科と英語科を合体し人間文化学科（英語

コミュニケーション、国語国文、文化ビジネスの三コース）を生み、平成二十六年からは現代ビジネス科（ビジネス、医療事務・医療秘書の二コース）に生まれ変わっています。二十年前は千名以上の学生が集っていましたが、今は約半分になっています。かつての英語科は、英語コミュニケーション（人間文化学科）に変わりましたが、平成二十四年度を持って廃止されています。そして国文科は国語国文コース（人間文化学科）となりましたが、音楽科、初等教育科とともに平成二十六年度を持って廃止されます。

●背景

十八歳人口の減少、そして高校生志向の変化（かつての教養志向が減り、実学志向が高まった）、また求人需要の変化（音楽系や小学校教師の就職先の縮小）が背景にあります。かつて五学科で様々な学生・教

員で賑わった時のことを思い出すと寂しい思いがします。しかし、宮崎に、地元で通える短期集中型の質の高い高等教育機関が必要不可欠であることを思えば、選択と集中による学科再編はやむを得ません。

●保育科

今後、幼児教育・保育の世界は大きく変わろうとしています。平成二十七年から「子ども子育て支援新制度」が始まり、幼稚園や保育園は両者の良いところを併せ持つ「認定こども園」への移行が増えます。「認定こども園」では「保育教諭」資格が必要ですが、それは現行の「保育士資格」と「幼稚園教諭免許状」の併有が必要となります。

保育者不足は、都会は勿論、宮崎でも続いています。そうした需要に応えるために保育科があります。

●現代ビジネス科

少子高齢化の問題に加えて、

人口の大会への一極集中が生まれ、地方市町村の消滅可能性が問題になっています。地方創生を担う若者が宮崎に残ることが課題です。現代ビジネス科では、企業への就職に備えて即戦力となる資格検定取得に力を入れながら、人間力・教養力・専門力を高めて、宮崎を元気に担う若者をビジネスコースと医療事務・医療秘書コースで育てます。図書館司書の資格がビジネスコースで取れることが、かつての国文科の伝統と言えます。

●感謝しつつ新たな一歩へ

英語科、国文科、初等教育科、音楽科は、本学の歴史に、そして本学教職員のDNAにしっかりと刻み込まれています。伝統を受け継ぎ、創立五十年の重みを受け止め、先人に感謝しながら、本学は新たな歴史の一頁を切り開いていきます。

どうぞ新たな母校の姿を応援してください。

最後まで一人一人の よさを活かし 素晴らしい人生を

初等教育科二年学級主任

宮崎 弘尚

輝かしい歴史を刻んできた初等教育科が本年度で長い歴史を閉じることになりました。入学して以来、初等教育科の皆さんは、最後の初等教育科の学生だという大きな使命を担って、一つ一つの行事に全力で取り組んでくれました。先輩の築いた伝統を守り、新しい風を吹かせようとよく努力してくれたと思います。また、自分の夢を実現するために着実に努力を積み重ねてきました。本年度の行事を振り返りますと、春の忍ヶ丘祭での全員によるパフォーマンス。少人数ではありませんでしたが素晴らしいものでした。六月の小学校での教育実習、八月の施設体験実習。いずれも熱心に取り組み、実習先の皆様からお褒めの言葉をいただきました。十月の秋の忍ヶ丘祭、リーダーを中心に一つにまとまり、おいしい焼きそ

ばを販売し、売れ行きも上々でした。一つ一つの行事が、一人一人の歴史に深く刻まれたことと思います。この足跡を糧に次の人生のステージにチャレンジしてほしいと思います。進む道は異なりますが、それぞれの道を胸を張って生き抜いてほしいと思います。最後に、卒業する皆さんに「桜梅桃李」という言葉を贈ります。桜は桜の美しさ、梅は梅の美しさ、桃は桃の美しさ、李は李の美しさ。花それぞれに美しさがあるという意味です。一人一人が自分の持てるよさを発揮し、素晴らしい人生を送ることを心から願って饒の言葉とします。

皆さんのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます



10月26日 初等教育科「最後の秋の忍ヶ丘祭」みんなで作ったおいしい焼きそば。売れ行き上々。

卒業生さらば！ 心に太陽を！唇に歌を！

音楽科長 末平 浩康

二十六年度ももって音楽科は幕を閉じますが、この最後の年度の音楽科二年生と専攻科生（音楽療法）達十六名は、それぞれ専攻や出身などが様々でした。二年生は、ピアノ専攻一人、管楽器専攻三人、音楽療法専攻二人、伝統音楽コース一人、ダンス・ミュージカルコース一人計八人というメンバー。専攻科生は、音楽科から三人、本学初等教育科および保育科から各一人、外部県外短大や大学から三人計八人というメンバーで、いろんな人たちの集まりは、それぞれこれから生きていく社会の縮図みたいな構図で、それぞれの個性を発揮しぶつけ合い、励まし合っての一年間であつたと思います。

さあ！これからどう生きるか？音楽で培われたもの、音楽を通して得たものをこれからの人生場面で発揮していつてほしいです。音楽が教えてくれたもの……一つは、やさしさ……。音楽は強い表現（フォルテフ）と弱い表現（ピアノP）から成り立っているけれど、どちらも大事！音楽には、よく協和する部分もあれば、不協和音もあつた。でも、不協和は必ずや協和する。音楽は競争でなく協和という作業でもありました。音楽は、眼に見えないものでもありました。言葉を超えることでもあります。見えないもの、言葉にならない音、何も無い空間を大切にしていって下さい。そして、それらを周りの人たちに伝えて行って下さい。そして、何よりもこれからの人生くよくよせず、大らかに笑いながら前に進んで下さい！心に太陽を！唇に歌を！



3月7日 音楽科 最後の卒業演奏会



オープンキャンパス

オープンキャンパスは、本学に興味をもっている高校生やその保護者をキャンパスにお招きして本学での学びや学生生活についてお伝えするとともに、在学生や先生方との交流を通して本学をより身近に感じてもらう、安心して入学してもらうために行う本学の年間行事の中でも最も重要なイベントの一つです。

実行委員は教職員約二十名で構成された「オープンキャンパス検討委員会」。年間を通して六回の会合をもち、前回の反省や新しい企画など議論を重ねます。会議で話し合った内容は学科会に繋がりますので、結局全教職員が関わることになります。

教職員だけでなく在学生も当日の運営で重要な役割を担っています。係学生の殆どが高校生の時にオープンキャンパスに参加した体験者たちです。今度は自分が短大生として高校生を迎える立場になって、「私たちが学ぶ短大のいいところをいっぱい知ってもらいたい！」とそれぞれの持ち場で張り切って取り組んでいます。

前日は学長先生を筆頭に全員で

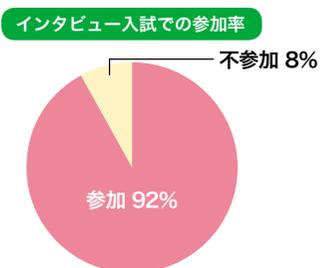
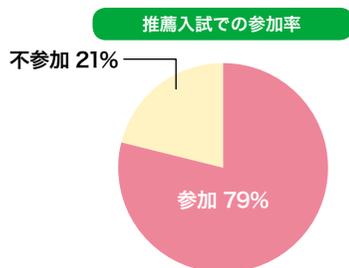
テント張りやオープニングセレモニー会場の設営、横断幕やのぼり旗の設置を行います。毎回気になるのがお天気。八月の第二回は雨模様でしたので、全体会から体験授業までテントを繋いで参加者のみなさんが雨に濡れないように通路を作りました。当日は早朝から最後の飾り付けのチェックをして、参加者を出迎えます。たくさん来られるかな、とちよつぱりどきどきしながら。

今年度、夏のオープンキャンパスは七月六日と八月三日の二回開催しました。前回まで午後にも授業を行っていたのですが、多くの高校生が午前中だけで帰られるのと、厳しい暑さで熱中症が心配なもので、今回から授業は午前中のみ、その後ランチを食べて流れ解散としました。

二回ともたくさんの方の高校生と保護者にご参加いただきました。参加者数は下表の通りです。

本学の受験者のオープンキャンパス参加率はインタビュー入試で九十二%、推薦入試で七十九%と非常に高く、受験校選択に重要な役割を担っていると考えられます。

	7月参加者数	8月参加者数	合計参加者数
高校生	222名	184名	406名
保護者	104名	102名	206名
合計	326名	286名	612名





最後の音楽科生によるコンサート



全体会



保育科卒業生柳田彩乃さんの体験発表



楽しい手あそびと保育のピアノ



全体会の後は係り学生の誘導で体験授業へ



人間文化学科医療事務・医療秘書コース
卒業生岩元佐津妃さんの体験発表



幼児のための製作あそび



司書のしごとはやりがいろいろ！



医療事務・医療秘書の仕事を体験



茶道部によるお茶のおもてなし



進学相談コーナー



保育科学生の作品展示



おまちかね学食体験。チョイスは4つ！



アンケートに答えてお楽しみ抽選



お疲れ様でした。お気を付けてお帰り下さい！！

生涯学習推進委員会

生涯学習推進委員会では今年度も「子育て支援セミナー」と宮崎学園市民講座を開講しました。市民講座においては長年ご好評いただいております「ニューライフ・アカデミー」に加えて「高齢者いきいき講座」を新設し、より広い年代層に向けて新たな出発をすることができました。



●子育て

支援セミナー

子育て支援セミナー担当 守川美輪

平成二十六年年度子育て支援セミナーは、〇・二歳児とその保護者を対象とし、宮崎市清武地域子育て支援センターに於いて二日間実施いたしました。おかげさまで、大人六十七名子ども八十二名計一四九名の参加があり、皆さま方に「親子ふれあい音楽遊び」を体験して頂くことができました。家庭での親子遊びの参考になったのではないのでしょうか。

運営において「ボランティア実習」を履修する学生がお手伝いをし、会場に置いた手づくりおもちゃでの遊びの援助や音楽遊びの援助、パネルシアターなどの読み聞かせをし、学生の学びの機会になっていきます。

実施後のアンケートには「下の子を見てもらえたので、上の子と楽しくリズム遊びができた。子どもも新鮮なようだった。学生さんの絵本等も上手だった。」「音楽などで体を動かし、親子共に良い気分転換になった。」「とても楽しめた。実際に楽器に触れて合奏できたのが良かった。」「などの感想が寄せられました。

本学には「こども音楽教育センター」があり、保育科では「音楽療法士(二種)」の養成をしています。来年度も、宮崎学園短期大学ならではの特色を生かした子育て

て支援セミナーを継続して開催する予定です。本学ホームページでお知らせする他、宮崎市内の子育て支援セミナーにチラシをお届けしてご案内しますので、〇・一歳児のいらっしゃる卒業生の皆様方もぜひご参加ください。お待ちしております。



実施日	内容	担当
平成 26 年 7 月 23 日 (水)	親子ふれあい音楽あそび	後藤祐子・中武亮子
	パネルシアター「ひよこちゃんのごんなになっちゃった」 音付け絵本「ぞうくんのさんぼ」	「ボランティア実習」履修 学生 8 名
	子育て・発達相談	久松尚美
平成 26 年 7 月 24 日 (木)	親子ふれあい音楽あそび	中武亮子・後藤祐子
	パネルシアター「大きなあれ」 音付け絵本「たまごのあかちゃん」	「ボランティア実習」履修 学生 9 名
	子育て・発達相談	渡邊尚孝
両 日	木版画・手づくりおもちゃ展示	守川美輪

●高齢者

いきいき講座

生涯学習推進委員 後藤祐子

平成二十六年九月二十二日(月)と九月二十九日(月)の二日間にわたり、本学で初めて「高齢者いきいき講座」が開催されました。この講座に参加された18名の方々には、合唱や健康に関する講座を受講し、心も身体もリフレッシュされ、元気に明日への活力溢れる充実した表情でみなさん帰っていかれたことが大変印象的でした。

第一回九月二十二日(月)の講座では「楽しく歌いましょう」というタイトルで本学音楽科長の末平浩康教授が講師を務めました。この講座では、みなさんで色々な歌をうたいながら音楽の楽しさを体験していききました。歌声はイメージで変化し、声を出す身体は心と繋がっているのです。私たちは歌うと気持ち浄化されるのだというこの講座から学びました。

第二回九月二十九日(月)の講座では「認知症予防のライフスタイル」というタイトルで本学専攻科(福祉専攻)主任の花畑明美教授が講義いたしました。こちらの講座では、認知症についての知識や食事、生活についてのアドバイスをいただきながら健康への意識を高め、元気に生きるためには日頃の生活習慣が何よりも大事であることを学びました。



講座を受講された参加者の方々のアンケートにも「懐かしい歌をうたい学生時代に戻ったようで嬉しく思った。」「楽しい講座に惹き込まれた。今後もし引き続き講座に期待したい。」とのお言葉をいただきました。本学が地域貢献の一環として続けている市民講座「ニューライフ・アカデミー」と同様に、この講座が少しでも地域のみなさまの生活にお役に立てればと思います。

● ニューライフ・アカデミー

生涯学習推進委員会委員長 後藤多津子

明教庵で実施した「ニューライフ・アカデミー」第一回（二月十九日・木）は山下忍学長が「『奈々子に』が生みなしてくれたもの」という演題で講義いたしました。前半は吉野弘詩集より『奈々子に』と『夕焼け』の二編を、後半は茨木のり子の作品を紹介されました。詩人が作品にこめた主題は自ずから詩人の生き方に深く繋がっているというお話でした。

吉野弘の作品については、「非凡なるものは、平凡なるものである」「一生懸命を思ふ者は、一番きつい思いをしている」ということと、題にこめられた意味にも着目したいと述べられました。

茨木のり子の作品については、「すぐれた詩は全力でエネルギーを注ぐ中で誕生する」とそのしなやかなつよさに言及し、「詩は解説の世界ではない。最もすぐれた人が書き残した作品に親しみ続けたい。何があなくても本があればいい。視力を大切にしゃきつと生きよう」とエールを送られました。受講された方からは、「文学への接し方を勉強させてもらった」「みずみずしい感性溢れたお話が心に沁みだした」「詩を読む喜びを改めて知った」等の感想をいただきました。

第二回（二月二十六日・木）の講座「茶の世界に親しむ」では倉永愛子講師が講義と実習を行いました。

	テーマ	講師
平成 27年 2月 19日(水)	『奈々子に』が生みなしてくれたもの	学長 山下 忍
平成 27年 2月 26日(水)	茶の世界に親しむ	講師 倉永 愛子

最初に「夏はいかにも涼しきよう、冬はいかにも暖かなるよう」、炭は湯の沸くように、茶は服のよきように、これにて秘事はすみ候」と説いた利休の教えを紹介し、『喫茶養生記』を引いてお茶の効用について説明されました。

次に、薄茶の点て方・お菓子とお茶のいただき方を学び、教室から「一期一会」の軸の掛かった和室に移動して実習を行いました。参加者がお二人一組となって客と亭主役を交互に体験するというのもです。お茶の嗜みがある方も初めてお茶を点てたという方も、まさに一期一会の和やかなひととき



を過ごされました。「初体験だったが、相手の方と楽しいひとときを過ごした」「三十年以上やっていないので少し緊張したが、楽しかった」「日本の文化の良さを再認識した」「初めてニューライフ・アカデミーに参加した。学ぶことの多い充実した講座だった」等の感想をありがたく頂戴しました。委員会では来年度以降も三つの講座を開講します。どうぞご期待ください。

保育フェスティバル

平成 26 年 10 月 25 日 (土) 於：本学
平成 26 年 11 月 29 日 (土) 於：イオンモール宮崎
2F イオンホール

保育フェスティバル実行委員 後藤祐子

宮崎学園短期大学保育フェスティバルは今年で七年目の開催でした。地域の方にも親しんでいただき、保育フェスティバルを楽しみにしてくださる方も多く、本当に嬉しい限りです。この保育フェスティバルは、企画～実施までを保育科学生と教員が一体となって行います。子どもたちが楽しめる遊びの場となるように、各クラス四～五名の保育フェスティバル委員がミーティングを重ね、遊びを決定し、さらに遊具の製作や実践練習をします。開催前には二回のリハーサルを行い改良、演出の吟味を行うなど、一生懸命に準備をして本番に臨みます。保育フェスティバルでは実際に子どもと一緒に遊び関わったり教えたりする中で、保育者としての実践力を身につける最高の学びの場となっています。

今年度第一回目の保育フェスティバルは本学交流センターにて行われました。子どもも八十名、大人一～二名来場があり盛況でした。第二回目はイオンモール宮崎イオンホール会場で行わ

れ、こちらも子ども一八五名、大人一八七名の来場者があり大盛況のうちに終わることができました。プログラム内容は、絵本の「三びきのやぎのがらがらどん」をもとにしたサーキット遊びや、音楽遊び、様々なゲームを盛り込んだ「アニマルアドベンチャー」など学生の発想豊かな、バラエティーに富んだ遊びのコーナーが用意されました。子どもたちが笑顔で楽しんできたことが何よりも学生たちの励みになったと思います。

保育科 二年E組

田中 杏奈



私は保育フェスティバルを通して多くのことを学ぶことができました。

私のクラスはアニマルアドベンチャーをしました。初めは昨年の先輩方が行ったものを引き継ぎ少しオリジナリティを加えることになっていきました。しかし、先生や委員の人達と話をしている中でどんどん話が大きくなり、動物と一部を残して自身は全く違うものになってしまいました。準備が大変だろうなと思いました。準備がそれと同時に楽しみになりました。思っていた以上に製作する物が多くなつてしま大変でした。様々な工夫をしながら、先生方にアドバイスをもらいながら完成させることができました。途中友達の手を借りながらも行いました。自分の思っていた通りに完成していくと、とても充実した達成感がありました。それと同時に早く子ども達と一緒に遊んでみたいと思いました。完成した後もどのような流れで進めていくのかなど何度も話し合いを重ねていきました。委員同士で衝突することもありましたが、意見をお互いで出し合うことができましたのでとても良い物ができました。

た。

本学での保育フェスティバル当日は、とても緊張しましたが、とても楽しみでもありました。始まってみると子ども達がとても楽しそうにしており、私が考えていなかった遊び方をしている姿を見て、びっくりしました。自分が使ったもので遊んでいるといううれしさもありました。反省点はたくさんありましたが次に活かしていこうと思いました。イオンでの活動は、本学でやった時よりも人の数も多く、少し形を変えてやってみました。前回の反省点も活かすことができました。子ども達もこのびと楽しそうに遊んでいて、この活動に参加してよかったなと思いました。新たな反省点もたくさんできてきましたが、今後の活動にも活かせればよいなと思いました。協力してくれた友人や同じ委員会の後輩、仲間達に感謝したいです。初めよりも絆を深めることができました。

今回の保育フェスティバルに参加してとても大変なこと

もありましたが、最後に子ども達の笑顔を見ることができたのがうれしかったです。子ども達と関わり方、仲間との協力することの大切さを知ることができてよかったです。今後の活動にも今回の経験を活かしながら取り組みたいです。



保育研修会



平成 26 年 7 月 13 日 (日) 於：本学

「子どもの音楽あそび」

保育研修会担当 中武亮子

今年度の保育研修会を七月十三日(日)に本学において行いました。

今回は「こども

音楽療育士」「幼児音楽療育士」「音楽療法士二種」のステップアップ講座を兼ねており、保育園二十一ヶ所、幼稚園八ヶ所、

その他から合わせて五十四名の先生方に参加いただきました。

午前中は「声と歌による表現」「楽器による表現」のワークを行いました。

声は、自分の身体から息を伴って出ます。また、歌はその声が音の高低、テンポ、リズム、情緒を伴って子どもたちに伝わります。いずれも



保育のプロにとつては大事なツールです。楽器による表現では、様々な楽器の音を聴き、それに伴う心身の動き、他の人と合わせるアンサンブルなどを体験していただきましたが、音を聴いたり人と合わせたりす

る活動は子どもたちが将来、人の気持ちを感じながら話を聞いたり、自分以外の人と一緒に何かをする楽しさに繋がっていきます。

午後からの「春夏秋冬を音で表現してみよう」では、四季の絵を描き、そこからイメージするものを、音や声、歌、楽器の音、身体の動きで表現する多感

覚なワークを行いました。それらの活動の中からは、演じる、合わせるといったコミュニケーションを伴う表現も生まれました。



「こどもの遊び」は、子どもたちが将来自身自身を支えていく心身の核を作っていくものであり、そこには、音や音楽の多感覚性が大きな意味を持っています。宮崎学園短期大学は、そのことを現場の先生方とともに考え続ける研修会を、今後も続けていきたいと考えています。



年間学友会活動

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・前期オリエンテーション ・新入生オリエンテーション ・春の忍ヶ丘祭の準備、開催 	<p>> スライドを使用し、役員紹介、学校行事などを説明</p>
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年一斉清掃の準備・運営 ・秋の忍ヶ丘祭の準備開始。(主に各クラスに何を行うのかを聞く) ・春の忍ヶ丘祭の反省会を実施 	
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の忍ヶ丘祭の準備 (各クラスの状況について) 	
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・オープンキャンパスでの司会、体験コーナーを担当 ・秋の忍ヶ丘祭の準備 (スポンサー依頼、学友会企画決定等。) 	
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の忍ヶ丘祭の準備 (パンフレット・ポスターの作成・模擬店、音響等業者との打合せ) 	
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の忍ヶ丘祭の準備 (業者およびゲストとの打合せ、確認) 	
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・後期オリエンテーション (秋の忍ヶ丘祭についての説明) ・創立記念式典の挨拶 (会長のみ) ・連絡協議会 (秋の忍ヶ丘祭について) ・秋の忍ヶ丘祭の準備・運営 (最終確認) 	
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・秋の忍ヶ丘祭の反省会 ・学友会選挙・歳末助け合いの計画立案 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・歳末助け合い募金活動 ・挨拶運動 ・新学友会執行部選挙 ・一斉清掃準備、運営 ・入学前教育スクーリングにチューターとして参加 	
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会 (新役員の発表、秋の忍ヶ丘祭の反省、決算報告、学生からの要望など) ・謝恩会準備開始 	
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・新役員への引き継ぎ ・謝恩会最終打合せ (当日の流れなど) 	
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・春の忍ヶ丘祭の準備開始 (競技内容など) ・年間のスケジュール確認 ・学友会の年間目標決定 ・オリエンテーション用のスライド作成 ・秋の忍ヶ丘祭ゲスト決定 ・謝恩会開催 	



学友会活動

「感謝」

学友会会長

保育科 二年A組

井上 奈々美

今年度は、「琢磨」というテーマを掲げて学友会一同活動してきました。春・秋の忍ヶ丘祭では、先生方をはじめ多くの学友が準備や片付けを手伝ってくれる姿を見て、協力して何かをやり遂げる素晴らしさを実感しました。また、何ヶ月前から計画をたて、朝早くから夜遅くまで準備などを一緒に行った執行部のみんなと活動出来て本当に良かったと思います。不安や苦勞も沢山ありましたが、共に支え合うことのできる学友がいて、励まして下さる先生方に出逢えたことに「感謝」の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございます。

学友会活動

学友会副会長

初等教育科 二年

久徳 貴史

私は最初学友会ではどのようなことを行うのかまったく分かりませんが、学友会に入るときは一年生の時から学友会会員だった友人と一緒にしようとうと誘われて入りました。何も分からなくて最初は学友会の他の役員の人ともあまり話せませんでした。ですが色々な行事で学友会全員で協力し、行っていくなかでお互いを助け合い宮崎学園短期大学をより良い学校にしていこうと大変なことも多かったですが行事などが盛り上がり成功した時の喜びはとても大きなものでそのたびに学友会のメンバーに入って良かったと思えました。私は副会長だったので主に会長のサポートをしたり、サークル関係の仕事を任されていた。会長の力となれたかは分かりませんが自分が任



秋の忍ヶ丘祭受付 (H26.10.25)



一斉清掃 (H26.5.28)



学友会役員一同 (H26.4.27)

された仕事は全力で最後までやり遂げようと思い頑張りました。学友会活動は本当に充実した日々で良い思い出となりました。

学友会活動を振り返って

学友会副会長

保育科 二年E組

外山 真衣

「いつもありがとう」その言葉とともにあふれる笑顔が、学友会執行部の活動の原動力になっています。

私は学友会執行部として、行事に携わる中で、学友や先生方の多くの笑顔に出会うことができました。行事の計画や準備、実行、片付けなど大変なこともあります。学友、先生方の協力があって学友会は成り立っています。

これからも、宮崎学園短期大学生をより良いものにしていくため、学友会執行部として積極的に活動していつてもらいたいです。

学友会を終えて

春の忍ヶ丘祭実行委員長

保育科 二年F組

下園 裕乙

私は、学友会で春の忍ヶ丘祭実行委員長をつとめさせていただきました。自分達二年生にとっては最後の体育祭であり、一年生にとっては最初だったのだと思います。自分も、春の忍ヶ丘祭実行委員長というプレッ



春の忍ヶ丘祭 (H26.4.27)

シャーに押しつぶされそうでしたが、先生方、そして学友達の協力を得て、日を増すごとに春忍に対する意識が高まりました。クラス全体の団結も強くなり、どのクラスもこの日に懸ける想いはとても大きなものだったと思います。学友会、実行委員長を通して支えてくださった人達への感謝、皆でやりとげたという達成感の気持ちでいっぱい입니다。これから新学友会に引き継ぎますが、新役員は不安なことも多いと思います。その時は、専攻科にいる自分にいつも相談してください。応援しています。

秋の忍ヶ丘祭を通じて

秋の忍ヶ丘祭実行委員長

初等教育科 二年

長友 さゆり

私は、秋の忍ヶ丘祭で実行委員長を務めさせていただきました。準備を通して、学生だけでなく、先生方や地域の方々、そして企業の方の力が加わって



秋の忍ヶ丘祭 (H26.10.25)

ることに驚くとともに、中途半端な気持ちでは、社会では通用しないという厳しさも経験することができました。

学生の皆さんには、自分たちで良い秋忍祭にしていこうという姿勢を見せてもらうことができ、感動する場面が色々ありました。特に学友会執行部の皆には、学業に忙しいなか、時間を作って準備に協力してもらい、私自身、何度も励まされました。私は学友会執行部に入ってから良かったと思っています。本当にありがとうございました。



人間文化学科・現代ビジネス科

国文四十八年

人間文化学科

国語国文コース 二年学級主任

後藤 多津子

開学二年目の昭和四十一年に設置された国文科は平成十五年に人間文化学科国語国文コースとなり、今年度の卒業生をもってその幕を閉じることになりました。私は昭和五十九年四月に着任しましたが、ご挨拶に伺った際の狩野満先生(初代学科長)のお話を忘れることができません。先生は国文の学生がいかによく勉強してきたか、いかに多くの本を読んだかということについて語られ新米の私を叱咤激励されました。姿勢を正してお聞きしたことを思い出します。先生のおっしゃるとおり、学生たちは実によく読みよく学びました。国語国文への思いを強く持った学生たちと共に学ぶこと

ができて幸せでした。

我々の愛してやまない国文科、国語国文コースは、平成二十六年度に巡り合わせた最後の卒業生十九名が誇りをもってその幕を引きます。国語国文の名称は無くなりませんが、四十八年間の卒業生二千八百五十六名の志は忍ヶ丘に生き続け、現代ビジネス科の学生たちがしっかりと受け継いでくれることでしょう。

図書館実習から

学んだこと

人間文化学科

国語国文コース 二年

石山 清徳・上米良 由紀
堀川 真彩・堀田 陽郁
宮下 慧子・宮田 昌樹

今年度八月、私たち六人は宮崎県立図書館での実習に臨みました。一学年時から座学、演習等を通して図書館学を学んできましたが、授業と実践は違い、

自分たちの力不足を思い知らされることが多くありました。そんな実習中に一番印象に残ったことは、「『当然』のことをかناعるための苦勞」が大事だということでした。一冊の本を本棚に並べるためには、選書をして、背ラベルやカバーの強化、図書のデータ登録などが必要です。並べた後も、利用者と本を結び付けるきっかけづくりをはじめ、多くの役割があります。それらを頭と体、そして心を使って解決して、初めて「当然」が

叶うことを強く実感しました。

力不足を感じながらもそれぞれが全力で実習に取り組み、大変有意義な時間を過ごすことができました。その後、宮崎県立図書館で開催された「みどりの図書館フェスタ」に、学生ボランティアとしての参加を呼び掛けていただいたときは、実習中の私たちの働きが評価されたと感じ、本当に嬉しかったです。ボランティアでは新しいメンバーも呼び込み、絵本・紙芝居の読み聞かせを中心に、打ち合わせからイベントの補助、片付けまで幅広く活動させていただきました。

本年度、私たちが国語国文コース最後の卒業生となります。この二年間で先生方や先輩方からいただいたご指導、激励によりひとりひとりが社会人としての自覚と覚悟をもって社会に出ることができました。本当にありがとうございました。



一年を振り返って

現代ビジネス科
ビジネスコース 一年

布施 寧々



入学してからの一年間、私ごとくに力を入れて取り組んできたことは二つあります。

一つは検定試験です。本学で何か一つでも努力した証を目に見える形で残したいと思い、秘書検定や情報処理技能検定、日本語ワープロ検定などの上級資格に挑戦しました。検定試験が連続して行われる場合や学内の行事と重なることもあり物事を並行して取り組むことの大切さを実感しました。高校とは違い、自分でしっかりと計画を立て、勉強していかなければならなかったのだとても大変でした。けれどもその分、合格者リスト

の中に自分の名前を見つけたときは本当に嬉しかったです。

もう一つは、自分が理解できたことを他の人にわかりやすく伝えるスキルを身につけることです。入学したばかりの頃の私は、相手にわかりやすく伝えるということがあまり得意ではありませんでした。そんな中、簿記やキャリアガイダンスの授業で他の学生に説明する機会を沢山いただきました。特に簿記では、ペア学習で簿記を初めて学ぶ人に教えたり、複数の人に同時に説明することを繰り返し行いました。高校の時に友人と教えあつた時とは違い、簿記を全く知らない友人にも説明していかなければならなかったのだとても難しかったです。しかし、相手の様子を見ながらわかりやすい例えや話す順序を考えながら伝え方を試行錯誤していくことで、自分の身の理解度も高めることができましたと感じています。

あつという間でしたが、とても充実した一年を過ごすことができました。これからは、自分の将来を決める就職活動が始まるので、より一層健康に気をつけて一日一日を大切に過ごしていきたいと思っています。

二年間を振り返って

人間文化学科
医療事務・医療秘書コース 二年

坂元 理紗



私たち、医療事務・医療秘書コースの学生は、「日本医師会認定医療秘書」「医療保険請求事務」「日医IT日レセオペレーター」の資格取得を目標に、医学や秘書などの科目を広範囲に学びます。

入学当初は、自分にやり遂げることが出来るのだろうかと不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、先生方の熱心なご指導や家族の応援に支えられて、不安だった気持ちも講義や演習で様々な知識を身につけることが出来る喜びへと変わりました。私が特に力を入れて取り組んだ科目は、レセプトの授業です。

レセプトというのは、患者さまが受けた診療について、医療機関が保険者に請求する医療報酬の明細書のことです。

最初はなかなか計算が合わず、苦手としていました。しかし、絶対に合格する、という強い気持ちで学習に励みました。学校では学友同士で分からないところは教え合って、共に切磋琢磨しました。家では先生が用意してくださる課題を何度も何度も解きました。繰り返し解くことで、スピードも速くなり自信も身に付いていきました。

試験はとても緊張しましたが、落ち着いて挑み、合格することが出来ました。先生方からも「よく頑張ったね」という言葉をかけていただき嬉しかったです。

私がこの二年間、どんなことがあっても前に進むことが出来たのは、周囲の支えがあったからです。これからは社会人として、また医療の現場に携わっていきたくて、感謝の気持ちを忘れず、成長していきたいと思っています。



初等教育科

就職が決まっても

初等教育科 二年

緒方 敬士



私は、社会福祉法人エデンの園に内定を頂きました。初等教育科に入学した際は、小学校の教諭になりたいと思っていましたが、介護等体験を通して、高校のとき学んだ福祉の職業につきたいという思いが強くなりました。

高校時代は福祉科ということもあり、介護実習でたくさんの方とコミュニケーションをとったり、援助をしてきました。そこで多くの専門的な知

識や経験を得ることができ、高校三年の最後に行われる国家試験に合格し、介護の国家資格を取得することができました。元々、お年寄りの方と話すことが好きで、笑顔であったり優しさなどで元気をもらうことがありました。普通に話すだけでも、すごく楽しくて、時には勉強になり、相談相手と言ってもいいほど、信頼できる大先輩でした。人を大切に思いやること。そして、辛いことがあっても笑顔でいることだけで、お年寄りの方は、見守ってくださるので、忘れられない記憶として残っています。

ですが、私は介護等についてたくさんさんの経験を積みましたが、初等教育科ということもあり、教諭の道に進むか介護の道に進むかで悩まされました。職と関係ないスポーツの道に進みたい気持ちもありました。そんな中、就職について、私の心を動かしてくれたのが、介護等体験でした。体験してみると、食事介助やシート交換など高校時代にしていたことと同じだっ



短大最後の教育実習前指導



初等教育科レクリエーション

たので、当時の記憶が蘇ってきました。体験をすることによって福祉の道に進む決意ができて、大学で培った二年間の実績が発揮できる職業を見つけることができました。生活支援員という立場で働くことになりましたが、不安と期待でいっぱいです。最初は、どの道に進みたいかわからなかったけど、諦めず前へ進んでいけば、必ず行きたい職業が見つかるんだなと実感しました。

一番は、大学の先生方からご指導して頂いたことが心の支えになり、成長できた二年間だったと思います。本当にありがとうございます。

大学編入にあたって
『花は咲く』

初等教育科 二年

渡邊 あかり



「あかり先生なら絶対に先生になれます！先生になったらプレゼントをあげます!!」。目をキラキラさせてそう言うてる子どもたち。心から教師になりたいと思った瞬間でした。昨年、母校で教育実習をさせて頂きました。沢山の方々のおかげで充実した三週間を送ることが出来たの言うまでもありません。それと同時に、想像以

上の仕事の厳しき、責任の重さ、自分の未熟さを痛感しました。果たして、自分は本当にこの道を選んでいいのか、怖くなりました。口では、「絶対に小学校の先生になる」と言いながらも、本音を言うとう不安でいっぱいです。

二年前、入学する時に決めたことがあります。それは、「与えられたチャンスは逃さない」ということです。自分を成長させるため、どんなことでも積極的に取り組みました。家族には「目立ちたがりね」と言われる程。沢山の経験をさせて頂いたおかげで、少し自信がつかえました。

しかし、一つだけ心残りがありません。それは一所懸命に取り組めなかった事。様々なことに挑戦したものの、「これだけは誰にも負けない」というものが無い事に気がきました。これまで幅広く学んできたことを、これからは一つに絞り、深く研究したいと思い、大学進学を決意しました。

右も左も分からない新たな地

での出発に、不安もあります。沢山の壁もあると思います。自分で決めたことです。負けられません。「あかり先生なら絶対先生になれます!」、その言葉を信じて、まだまだ蕾の私ですが、一年でも早く花が咲くように、頑張ります。



初等教育科レクリエーション

音楽科

届けたい音楽

音楽科 二年

戸高 由貴

充実した音楽の日々と今年でお別れとなりました。今の自分の演奏と入学前の演奏を聴き比べると、伝えたい気持ちたちが自然に音楽で表現できるようになっているなど感じます。これも、様々な経験があったからこそ今の演奏ができるのだと思います。特に、昨年行われた、定期演奏会では大きく成長できました。

私が演奏した曲は一つの物語の様に大きいスケールの作品でした。いざ練習がスタートすると、ピアノのテクニクばかりに気を取



定期演奏会

られ、特に変化のないただまっすぐ進んでいる様な音楽になっていました。そんな時、ピアノのレッスンで先生に「このメロディーはどんな風景が見える？」と聞かれ、いつも無表情の音楽を弾いている私にとって

は、考えたことのない私にとってでした。演奏者は、ただ楽譜通りに弾くことでは成長できないとその時強く感じました。まず、相手に届けたい思いを音として表現する努力をしなければならぬと感じました。そこからの練習は、この音にはどういう気持ちや風景が隠れているのか、それをどのような音で表現するかを重視しながら練習しました。すると、メロディーも自然と歌うことができる様になり、今まで気にしていなかったハーモニーも味わいながら演奏することができました。定期演奏会当日、自分のつくる音楽の時間を聴いてくださる方に味わってもらえる様な演奏をすることを心がけました。とても緊張しましたが、自分自身も味わいながら弾けたと思います。

演奏会に出演して、演奏技術だけでなく、内面的な成長もできたので、とても良い経験をさせていただいたと思います。

短大生活を振り返って

音楽科 二年

今村 美月



私は、音楽療法の勉強をしたと思います、宮崎学園短期大学を選びました。住み慣れた土地、家族や友人から離れて新しく生活をスタートさせることに不安もありましたが、これから始まる生活に期待を膨らませていたことを思い出します。

一年生のときは慣れるまで大変でしたが、全てが新鮮でした。本格的なピアノや声楽のレッスンがあったり、音楽の専門科目を受講できたり、ボランティア活動に参加したりしました。ま

た、春忍や秋忍などの行事があり、一年間充実した時間を過ごせました。二年からは本格的に実習が始まりました。幼稚園実習、音楽療法臨床実習があり、事前の準備や日々の日誌などに追われ忙しく時間が過ぎていきました。実習を行い、実際に現場ではどのようなことを行っているのか自分の目で見ることで、とても勉強になりました。また、自分の不得意な分野がはつきりし、今後の目標もできました。大変だった分、学んだことも多くありました。実習を乗り越え、人間的にも大きく成長できたと思います。

短大二年間はとてもあっという間でした。限られた時間だからこそ、自分のしたいことを思い切りでき、その中で失敗をしたり、様々な経験ができました。また、色々な人に出会い、たくさん思い出も増えました。学業に関しては、音楽の深さを知ることができたとともに、音楽の素晴らしさを再認識することができました。これからさらに音楽を極め音楽療法士として働

けるよう、努力を重ねていきたいと思います。

私の道

音楽科 二年

馬庭 ちぐさ



私は音楽療法士になりたいと思いますこの宮崎学園短期大学の音楽科に入学しました。短大での二年間という生活はあっという間でした。中学生の頃、音楽療法のことを知り音楽療法士の夢をもち今まで進んでいくことができました。

短大に入学して初めて音楽療法の授業を受け一年生の頃は、基礎を演習で行いながらどのような方法があるのか、実際に体で感じながら学んでいきました。夏に現場で働いている方の話を聞き私は「障がいのある方対象者一人一人にどのようなア

プローチを行うのか、どのように構成をするのか」という疑問を尋ねました。二年生では、実際に現場へ入ることが多くなり臨床実習と共に学校で学んだことを取り入れながら行うことによつて一年生の頃の疑問を解くことができました。そして二年生の集中講義で先生に「質問はありませんか」と問われ「ありません」と答えた私がいきました。音楽療法について何も知らないで疑問を持っていた頃、自身身に知識や沢山の経験が入つてくると分かった気分である姿が今現在あります。

専攻科では、一つ一つの学びに疑問をもち、次に繋げる力をつけたいと考えています。また、夢だった音楽療法士に近づいていくと共にこの仕事の厳しさや、自分でもできるのだろうかという不安も増え、私の進む道はよかつたのだらうかと思うことが多々あります。しかし、専攻科に進むにあたり今まで行ってきた積み重ねを元にし、毎日疑問をもち、答えを見つけてながら音楽療法の歴史や様々な楽器

の使い方、プログラム構成の仕事など多くのことを学んでいきたいと思えます。

就職するにあたって

音楽科 二年

中竹 幸乃



私は、四月から高齢者施設にて、音楽療法士として勤めることになりました。

就職先に内定を頂いた時は、嬉しいという気持ちの反面、プレッシャーを感じ、身が引き締まる思いを感じました。

私は、勤めるにあたって、一番大切なことは、無遅刻無欠勤だと思えます。これは当たり前のことだと捉えがちですが、仕事をするということは、会社からお給料を頂くということなので、より責任感を持つて生活しなければいけないと思えます。

まず、欠勤をしないためには、自己体調管理が大切だと思えます。

また、高齢者施設に勤めるので、なおさら自分が病気になることができません。日々の生活の中で自分にできる対策は、手洗いがいい、早寝早起き、暴飲暴食に気を付けることです。このことを、当たり前のことだと思わずに、改めて意識して取り組んでいきたいです。

また、就職するにあたって、この宮崎学園短期大学で学んだ、礼節と勤労を社会人になつても忘れず、心がけていきたいと思えます。

社会人の一員として働いていくうえで、どんなことにも積極的に取り組み、更に経験を積み重ねながら成長していきたいです。

そして、人と人とのつながりを大切にしていき、少しずつ周りとの信頼関係を培っていききたいです。

以下のことを心がけながら、四月からの社会人生活に励んでいきたいと思えます。

保育科

はじめの一步

保育科 二年A組

藤崎 美奈



二年次六月に幼稚園で三週間の実習をさせて頂きました。子ども達と沢山関わり、先生方の保育を学ばせて頂き、大変充実したものとなりました。

初めての研究保育もあり、緊張や不安が大きかったのですが、実習初日から入らせて頂いた年長児の子ども達は「先生、名前何て言うの?」、「一緒に遊ぼう。」と話掛けてくれました。中には、大人しくて遠くから私を見ているだけの子どももいた

ので、二日目からはクラスの子ども全員と会話をするという目標を立て、子ども一人一人と関わるようにしました。すると、見ているだけだった子どもも自分から私に話し掛けて来てくれるようになりました。

私にとってこの実習での大きな課題は研究保育でした。どのような活動をすれば子ども達が興味を持ってくれるか、年長児という発達段階でどのようなねらいを立てれば良いのか、大変悩みました。担任の先生に御指導頂き子ども達と関わる中で自由遊びの時によく迷路の絵を描いて遊んでいる様子が見られたことから、身近にある材料や廃材を使った立体迷路の製作を行うことにしました。研究保育当日は、子ども達は大変興味を持ち、楽しんで活動に参加してくれましたが、保育を進める早さやどの程度の援助が必要かなども多くありました。保育をするに当たり子どものことをよく知ることや子ども一人一人と向き合い信頼関係を築くことがい

かに大切かということの研究保育を通して身を持って感じました。

そしてこの実習において、子ども達は保育者が話す時の表情や視線、声のトーンの変化を感じ取っていることや状況に応じて保育者が「見守る」ことも子どもの成長には大切であることなど、実際に子どもと関わったからこそ学べたことも多く貴重な三週間となりました。

実習生を受け入れて下さり御指導して頂いた園の先生方、そして子ども達にとっても感謝しています。実習での経験を糧に今年四月から一人の保育者としてはじめの一步を踏み出したいと思います。



保育科交流会

社会人としての心構え

保育科 二年B組

長田 侑磨



私は、夢であった保育士という仕事に就けることを本当に嬉しく、楽しみであります。大学で学んだ専門的な知識や技能を現場で活かしていけるように頑張っていきたいと思っています。しかし、それだけでなく不安もあります。それは、「責任の重さ」です。社会人になるということは学生と違い、責任の重さが大きくなります。そのため、一つ一つの仕事を丁寧に取り組み、最後まで責任を持って仕事をしたいと思えます。

在学中、実習等で保育の現場



授業「人間の研究Ⅰ（礼節）」

に入った際、大切だと思ったことがあります。それは、挨拶です。実習先の先生方が子どもたちや保護者の方にいつも笑顔で挨拶をされている姿を見て、どんな時でも明るく笑顔で挨拶をしていきたいと思いました。また、建学の精神である「礼節と勤労」も社会人になる上でとても大切だと改めて実感しました。

これらを踏まえて、子どもたちは勿論のこと保護者の方や周りの先生方から信頼される保育士を目指し、子どもたちの良きモデルとなるような行動や言



保育科 二年C組

芝吹 香澄

施設実習で学んだこと

動を心掛けていきたいと思えます。また、時間を守ることや報告・連絡・相談を大切にすること、言葉遣い等の社会人としてのマナーを守り、社会人として恥じない人になりたいです。そして、ここまで支えてきて下さった周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、更に努力を重ね、日々精進していきます。

八月十八日から三十日までの十日間、保育実習Ⅰbで発達障害児施設へ、十二月一日から十一日までの十日間は保育実習Ⅲで乳児院での実習をさせていただきます。保育実習Ⅰbは

全員必修ですが、保育実習Ⅲは選択科目です。私は将来児童養護施設に就職したいと考えているため、実習を希望しました。実習では子どもたちときちんと関わる事ができるか不安でしたが、笑顔で迎えてくれて、私も自然と笑顔になることができました、充実した実習となりました。発達障害児施設では、カードを使って伝えたり、出来たら大いに褒めたりして子どもたちの意欲を引き出す関わり方の大切さを学びました。また、外食支援にも行かせていただき、園外に出たときの保育者の配慮など多くのことを学ぶことができました。

乳児院では、一日の活動だけでなく、オムツ交換の時の一对一の関わり方も愛着関係に必要な時間であることを知りました。また、一緒に遊んだり活動する中で、多くの配慮点や、子ども達を褒めることや、いけないときはしっかりと伝えることの大切さを学びました。

このような実習を通して、児童養護施設で働きたいという思



授業「子どもの食と栄養」
クラスメートを相手に食育の模擬授業

いが強くなり、更に福祉専攻科に進学し幅広い方を対象とした支援ができるようになりたいと考えています。実習で学んだことを活かして将来の夢に向かって頑張りたいと思います。

短大生活を振り返って

保育科 二年D組

坂元 志帆



保育士という夢に近づく一歩を踏み出せる喜びと実習を乗り越えていけるだろうか等の不安を胸に迎えた入学式から二年が経ちました。九十分間の講義、単位取得や履修登録など全て自分の責任で進めていかなければならないこと等慣れない生活に戸惑いながらのスタートでした。しかし短大に入学したことで新たな出会いがあり、たくさんの友人ができました。私の短大生活の中で友人の存在は本当に大きかったと思います。高校まででもたくさんの友人に出会ってきましたが短大で出会え

た友人は保育士になるという同じ夢を追いかけている共通点があるのでその分悩んだ時、立ち止まった時、お互い支え合えることが多かったと思います。特に実習の際は友人に助けられました。現場に立つと思い通りにいかないことがほとんどで壁にぶつかることが多く友人に相談することも少なくありませんでした。研究保育を何にするか、どのように進めたらいいか等悩んでいる時、友人に相談すると自分のことのように親身になって考えてくれて、また同じような事でお互い悩んでいる時は自



「あきらちゃん&コロツケくん」と一緒に「あそびうたコンサート」

分だけが苦しんでいるわけじゃないと励まされました。学校生活を離れてプライベートでも時間が合うと一緒に出かけられることもありました。このように二年間の短大生活を振り返るといつも隣に友人がいた気がします。笑ったり、泣いたり様々な事を一緒に乗り越えてくれた友人は一生の宝物です。これからも同じ保育士仲間として何かあった時には支え合いながら、素敵な保育士になりたいと思います。

専攻科進学にあたって

保育科 二年E組

川東 珠子



私は保育科入学当初から専攻科進学を考えていました。なぜかという、高校生の頃から、

祖母の介護をしており、少しでも役に立ちたいと思い、介護に関する知識を学びたいと思うようになったからです。

専攻科進学にあたって、やっていけるか不安もありますが、「人として成長できた」という先輩方の言葉や、「学べるうちに多くのことを身につけよ」という両親や友人の言葉で進学を決意しました。

専攻科に進学するにあたって、年四回の実習、日々の学習、新たな友人との出会い、そして就職活動など楽しみであると同時に不安も多くありますが、保



全学一斉清掃

育科での二年間の学びや経験を糧に、ステップアップできるよう努力したいと思います。学生最後となる専攻科での一年が充実したものとなるよう、様々な事に挑戦し、実習など苦しい時こそ笑顔で乗り切れるよう心がけたいと思います。

たくさん笑顔に 囲まれて

保育科 二年F級

竹崎 愛



二度の保育園実習は私にとって、とても貴重な体験となりました。

一度目の保育園実習は初めての実習で戸惑うことが多く、なかなか自分の思うようには行動できませんでした。一人ひとりの個性や性格が違う中でその子

に合った対応をするのはとても難しく、本当にこれでいいのかと不安に思うこともありました。しかし、毎日子ども達と接していく中で自分には足りないものが少しずつ分かってきました。子どもを引きつける手遊びやその場に合った絵本選び、子どもの動きに対する配慮の仕方など先生方から学ぶことが多くありました。

二度目の保育園実習では、一度目の実習経験を生かし、毎日目標を決めて取り組みました。一度に数人の子どもに遊びに誘われ戸惑ったり、悪いことは悪いと伝えられなかったり反省することもたくさんありましたが、先生方から助言を頂きながら自分なりの保育が出来ました。研究保育では、分かりやすい説明の仕方や先を読んだ活動の進め方が出来ておらず、改めて事前準備の大切さや子どもの目線に合った保育について学ぶことが出来、自信に繋がりました。

四月からはいよいよ保育士になります。実習で学んだことを

忘れずに毎日多くの子どもたち
の笑顔に会いえる、保育士とい
う仕事に誇りを持ち、がんばり
たいと思います。



授業「人間の研究Ⅱ（勤労）」



実習直前の2年生との交流会



専攻科

福祉専攻科での 一年間を振り返って

福祉専攻

黒木 愛莉



私が介護について関心を持ち、介護福祉士の資格取得を志すようになったのは、高齢の祖母や両親など身近な人の介護が必要になった時に、介護についての知識を身に付けておくことで、何か役に立つことがあるのではないかと思い、福祉専攻科に入学しました。

そして今、専攻科に入学してからの一年間を振り返るとあつという間で、特に介護実習では多くの気付きや学びを得ること

ができました。入学して間もない時期に行われたはじめての実習は見学が主で、様々な状況にある利用者との関わり方の難しさに直面し、課題の残る実習となりました。さらに二、三回目の実習では、担当利用者を受け持ち介護過程の展開を行うため、日々の目標を明確に、計画性をもって実習に臨みました。

また、日々の講義や演習授業では、講義で学んだことを学生同士で確認しながら生活支援技術を学び合い、利用者役の体験を通して利用者の目線での気付きを得ることができました。このような一年間の学びを通して、介護福祉士には利用者一人ひとりの病気や障害を理解し、相手の立場に立って、精神面・身体面での支援が求められるということを学びました。

四月からは、地元の保育園で保育士として働きますが、専攻科で学んだ知識を保育の現場でも活かし、一年間学んだことを無駄にせず、社会人として頑張りたいと思います。



授業「日常生活支援技術」

本物になるために…

音楽療法専攻

岡崎 美智子



私は2年前に本学の音楽科に入学しました。そこで音楽療法に出会いました。始めこの言葉聞いて「音楽で何をやるの?え、療法?」と思いましたが、興味があり受講しました。始



めは自分自身が体験することから始まりました。CDの曲を聴いてどんな体の動きができるか、ピアノ伴奏に合わせて様々な楽器を使って演奏するなど音楽をここまで自由に使ってもいいのかと思うぐらい楽しかったです。

学んでいく上で今度は音楽療法士がする音のアプローチの仕方を学んでいきました。楽器を叩きながらどんな音が必要か分からずこの時に「もっと音楽療法について知りたい」という強い気持ちになりました。専攻科に進学し、どんなことが学べるか楽しみでした。

専攻科では音楽療法のアプローチ以外に音楽療法の歴史、疾病や医学、心理学の分野など多くのジャンルを学びます。実際に授業を受講すると聞いたことのない言葉が多く音楽療法の深さは果てしないなと思いまし



た。しかし様々なことを吸収したところによつて何がいか分かんなく、自分が音楽療法から離れた

い気持ちが出てきました。そのときにある先生から言われた一言がありました。それは「自分を持ちなさい。」という一言でした。ここで私は様々な音楽療法士の言葉や意見に左右されており「自分」というのを見失っ



ていました。様々な知識は音楽療法する上で必要ですが何がいいのか見極めることが大切だと思いました。プログラムを立てるにしてもその意味や目的が本当に利用者にとっていいのか吟味し、一人の音楽療法士としてこれからも色んなことを吸収し勉強していきたいです。





忍ヶ丘寮

忍ヶ丘 寮長

音楽科 二年

石角 怜那

忍ヶ丘寮での生活は遠方から親元を離れて生活を送る私たちにとって、とても心強く、安心感があるものです。寮生は、「家族」という存在であり、生活する上でルールやマナーなどを守りながら毎日を送っています。寮で生活しなければ得ることのできないことが沢山あります。

私は県外から初めて宮崎に来ました。友人もおらず、知り合いない人も一人いないという状況でとても不安があったことを覚えています。音楽科の学生も人数が少ないため、不安を抱え入寮しましたが、ここでは学年や学科を超えた交流ができ、この二年間で多くの思い出を得ることができました。残念ながら本年度をもって閉寮となりますが、イベントなどで心に残る思い出を作りたいという気持ち

強く、毎年行われる焼肉パーティーやハロウィンパーティーなど大いに盛り上がり、学年を超えて交流を深めることができました。

私は、この寮に入っていないけれど

このように大切な存在となる寮生に出会うことができなかったと思います。また、集団生活の勉強の場にもなりました。挨拶など基本的なマナーや共有スペースの掃除を分担して行うこともあり、自分自身の生活を見直す機会にもなりました。一年の後期には執行部としての仕事を任せられ、責任感も培われる場となりました。

秋の忍ヶ丘祭では、忍ヶ丘寮として模擬店を出店しました。このような活動でより一層「家族」のつながりを深められたと感じています。



鍋パーティー



焼肉パーティー



ピッキング



新入生歓迎会

教員免許状更新講習会

平成十九年六月の改正教育職員免許法の成立により、平成二十一年四月教員免許更新制が導入されました。この制度は教職にある方が最新の知識技能を身につけることを目的とし、必修講習二日間十二時間、選択講習一日六時間の三日間計十八時間の受講が義務付けられています。必要な履修を終えた方は、その履修証明書を添えて、免許管理者である県教委に更新講習修了確認の申請を行います。

本学では幼稚園教諭を対象に、必修講習と選択講習各十二時間を開設しています。平成二十六年年度の講習日程は、必修講習が八月七・八日、選択講習が八月十一日と十二日でした。本学の講習だけでは必要時間数に達しませんので、宮崎県私立幼稚園連合会の講習等其他の講習を受講する必要があります。

更新講習受講期間および県教委への更新講習修了申請期間は、生年月日に対応して定められています。詳しくは、文部科学省のホームページ「教員免許更新制」をご覧ください。



保育士資格取得特例講座

平成二十四年、八月改正認定こども園法により幼保連携型認定こども園が創設されました。その職員である「保育教諭」は、幼稚園教諭免許状と保育士資格の両方を有することを原則としています。改正認定こども園法施行後五年間は一方の免許・資格で保育教諭として勤務できますが、この間免許・資格併有促進のための特例制度が設けられています。

本学には、初等教育科を卒業して幼稚園に勤務しておられる卒業生が多くいらっしゃいます。その方々に保育教諭として活躍していただくため、また広く地域の幼児教育充実のために、宮崎学園短期大学保育士資格特例講座を開設しております。平成二十六年度は、「福祉と養護」と「保健と食と栄養」の講座を八月に実施しました。二十七年度は、「特例教科目「相談支援」「乳児保育」を開設予定です。

特例制度の詳細については、厚生労働省のホームページ「幼稚園教諭免許状を有する者における保育士資格取得特例」をご覧ください。



更新講習、特例講座とも、本学の通常の教育活動に加えての講座で制約もありますが、地域貢献の一環として努力してまいります。どちらも詳細が決まり次第本学ホームページに掲載します。ご覧ください。

平成26年度 就職状況

就職指導課（平成27年2月27日現在）

	保育科	初等教育科	音楽科	人間文化学科	専攻科	合計
建設業	1					1
製造業				1		1
卸売・小売業	1			3	1	5
金融・保険業				5		5
情報通信業				4		4
電気・水道業						
不動産業						
サービス業	2		2	10	1	15
医療・保健業				9	1	10
幼稚園	30	3			4	37
保育所(園)	116				21	137
福祉施設	8	2			17	27
小・中学校						
公務員	1					1
専攻科	36		5			41
他進学	5	12		1	1	19
合計	200	17	7	33	46	303

業種別就職内定者数

卒業生就職先一覧

(平成27年2月27日現在)

建設業 (1名)

川上建築1名

製造業 (1名)

雲海酒造1名

卸売・小売業 (5名)

ハンズマン1名、日高時計本店1名、ミートショップながやま1名、勉強堂(PURA・VIVID A) 1名、武蔵野1名

金融・保険業 (5名)

みずほ銀行1名、宮崎太陽銀行4名

情報通信業 (4名)

システム開発1名、鉾脈社1名、旭化成アミダス2名

サービス業 (15名)

宮崎中央農業協同組合1名、全日警1名、アイネットサポート宮崎1名、木城えほんの郷1名、生目神社1名、シテイサイト1名、トータル・ケアサービス2名、宮崎市嘱託司書4名、リラックサス9801名、宮崎カメラ1名、宮崎文化振興協会1名

医療・保健業 (10名)

宮崎医療センター病院1名、さかもと歯科・歯科口腔外科医院1名、こおりやま医院1名、かわはら整形外科リハビリテーションクリニック1名、松の実薬局1名、あけほの薬局1名、桜ヶ丘ファミリークリニック1名、宗正病院1名

(県外)

医療法人社団カレスサッポロ1名、附属美原記念病院1名

幼稚園 (37名)

昭和幼稚園1名、平和が丘幼稚園1名、天竜学園幼稚園2名、光ヶ丘幼稚園1名、都農聖愛幼稚園1名、栄ヶ丘幼稚園1名、宮崎幼稚園1名、富高学園幼稚園3名、一ツ岡南幼稚園1名、成華幼稚園1名、平和幼稚園1名、生目幼稚園1名、野の花幼稚園1名、西都愛育幼稚園3名、日南幼稚園1名、アソカ幼稚園2名、大淀幼稚園1名、昭和学園幼稚園1名、土々呂幼稚園1名、財光寺幼稚園1名、東幼稚園2名、一つ岡幼稚園1名、共愛幼稚園1名、東海幼稚園1名、西都ふたば幼稚園1名、ひかり幼稚園2名、延岡望幼稚園1名

(県外)

末吉中央幼稚園1名、上甲子園幼稚園1名

保育所 (園) (137名)

ひがし・広瀬中央保育園・児童クラブ6名、清武社会福祉会保育園4名、ふたば・古城保育園4名、よいこのもり保育園3名、

花ヶ島北保育園3名、あおぞら保育園2名、あけぼの保育園2名、くどみ保育園2名、加納ひまわり保育園2名、生目台みどり保育園2名、曾師保育所2名、飛江田保育園2名、櫛保育園2名、あさひ保育園1名、太陽保育園1名、さくらが丘保育園1名、ソレイユ保育園1名、たかふさ保育園1名、みずほ保育園1名、みやざき保育園1名、一ツ葉保育園1名、横町さくら保育園1名、宮崎福祉会保育園1名、江平保育園1名、三宮保育園1名、生目台ピノキオ保育園1名、天ヶ城保育園1名、天神保育所1名、島之内保育園1名、働馬寄保育園1名、八幡保育園1名、明照保育園1名、国富東保育園1名、いずみ保育園2名、のぞみ保育園(新富)2名、一真保育園3名、上富田保育園1名、八幡保育園(新富)2名、石井記念友愛社保育園2名、穂北保育園3名、こどもの家保育園1名、めいつ保育園1名、わかすぎ保育園1名、さくらさくら保育園1名、浄信会保育園3名、さくら保育園1名、朝日保

育園1名、南保育園1名、えびの福祉会保育園1名、信楽寺保育園1名、往還保育園3名、日知屋保育園2名、正念寺保育園1名、比良保育園1名、門川保育園2名、こひつじ保育園1名、ひので保育園1名、真光会保育園3名、早水保育園3名、川東保育園3名、下水流保育園2名、つみき保育園2名、さかえ保育園1名、ぼっぼ保育所1名、安楽地保育園1名、山野原保育園1名、志比田保育園1名、都島保育園1名、三股中央保育園1名、みどり保育園1名、稗田保育園1名、旭ヶ丘保育園1名、おひさま保育園1名、さつき保育園1名

(県外)

こどもの森保育園5名、きぼうの森保育園1名、小学館集英社保育園1名、アンジェリカ保育園1名、つくし保育園2名、ミルキー・マリー保育園1名、福岡中岡舞鶴誠和保育園1名、福岡中央保育園1名、若宮保育園1名、ファミリア・キッズ保育園1名、天理託児所1名

福祉施設 (27名)

宮崎江南病院(サンビユー宮崎)2名、寿幸園3名、三愛園3名、皇寿園1名、幸楽荘1名、住之江1名、牧水園1名、楓荘1名、宮崎県社会福祉事業団1名、石井記念友愛社1名、つよし会3名、エデンの園2名、白浜学園1名、うからの里1名、やまびこの里1名、竹の寮1名、風舎1名、鈴南の里1名、ゴールデンレイク1名

公務員 (1名)

綾町役場1名

専攻科 (41名)

宮崎学園短期大学専攻科福祉専攻35名・宮崎学園短期大学専攻科音楽療法専攻6名

他進学 (19名)

科目等履修生14名、西九州大学子ども学科、宮崎看護専門学校



新教職員紹介



学生とともに



木村 匡登
(専攻科音楽療法専攻)

四月より着任しました木村匡登です。どうぞよろしくお願いたします。私は、これまでソーシャルワーカー養成教育とその裏付けとなる臨床の研究(実践フィールド)に取り組んで参りました。臨床の研究領域は、「幼児期における発達障害と保護者支援」であります。本学では社会福祉援助技術系の科目「相談援助」「家庭支援論」「保育相談支援」を担当しております。福祉(ソーシャルワーク)は人々の「幸せ」を追求する実践の学問です。福祉を実践する人は、支援を必要とする人が自らの力で幸せになるための伴走者であります。その伴走者たるソーシャルワーカーは、人にかかわる諸科学を学ばなければいけないことは周知のことであると思えます。保育者を養成する本学で、私の使命は、学生一人ひとりに福祉の本質を理解してもらい意識高き保育ソーシャルワーカーを目指してくれることであると信じております。そのためにも学生

に寄り添い、共に学んでいこうと思えます。

勤労の伝統を繋ぐ



倉岡 豊実
(保育科)

おられます倉岡豊実です。どうぞよろしくお願いたします。大学での授業は建学の精神である人間の研究「勤労」を担当しています。主に大学近くの圃場(畑)でのソラマメやサツマイモ栽培、収穫が実習の中心となりますが、数十年の伝統ある必修の科目であることが、学生の姿を見て強く感じました。実習は畝作りから始まり、あつても鍬をもって土を掘り起こす経験はあります。炎天下での作業です。土を掘り起こせば、ダンゴムシやミミズなどが出てきます。硬い土を掘り起こすには全身の力が必要になります。初めて

初めまして、本年度より勤務しております。

尽しの作業に呆然と立ちすくみ眺めるだけの学生、何度か鍬入れに挑戦するが土の硬さと虫の歓迎を受け、すぐに限界を感じ動けなくなる学生、額から吹き出す汗にもかかわらず黙々と鍬に力を込め畝作りにもかまわず黙々と鍬に力を込め、グループで分担された二つの畝は時間内に完成しなければなりません。なかなか進まないグループも他のグループの様子を気にしながら、そして一生懸命作業している仲間の姿に二人二人が加わっていき、最後のマルチビニル被覆でなんとか完成します。すると、自分たちで作った畝だけにサツマイモの途中の成長も気になり、除草作業も虫との戦いに力が入る学生の姿を多く見ることでました。昨年五月にはソラマメを収穫し美味しく頂くことができましたが、これは一年の一年生の作業のお陰です。次の学生のために「勤労の伝統を繋ぐ」一本の鍬に込められた汗や心が一人一人の今後の職場や生活に活かされる時が来ることを願っています。寒風の中で春を待つソラマメも同じ気持ちでしょう。

建学の精神「勤労」の授業から多くのことを私も学ぶ日々です。

資格を活かして



兒玉 京子
(現代ビジネス科)

本年度、宮崎学園短期大学に赴任しました白石知子です。どうぞよろしくお願致します。



白石 知子
(保育科)

自分探しの旅に出発

平成二十五年年度に非常勤として、平成二十六年年度に常勤として勤務しています。長年、一般企業に勤務し、プログラマーを経て、経理、総務、人事など様々な事務を経験してきました。昨今の不況のおり、会社が倒産後、社会保険労務士の資格を活かし官公庁で勤務、その後、キャリアアカウンセラーとして、各地でセミナーや高校生の就職支援などをしておりました。その後、ご縁があり本学でお世話になっております。現代ビジネス科では、Word、Excel、簿記、FPの資格取得の担当をしております。私自身が持っている資格は全て社会に出て取得したものです。学生の時に取得するということは、大変な事だと思えますが、社会に出た時に、即戦力として役立つ事でしょう。学生の皆さんが社会に出ていくサポートをしながら、その後、キャリアを積んでいく様を楽しみにしているところです。どうぞよろしくお願いたします。

登校時の学生の表情は様々である。挨拶の様子にもそれぞれの個性が出る。言葉で大きな声でする学生、表情だけで返す学生等々。夏前から学生からの声かけが増しこちらの表情もつい緩む。緩むと更に学生からの挨拶が増えるように感じる。一言二言の言葉を通じて共に繋がりを深め、共に成長しているのではと思うこの頃である。

慣れない短大教員の仕事ですが、医療や看護の専門知識の中から、それぞれの学科、コースに合わせて何を伝えれば現場や社会で使える知識となるのかを、日々考えながら授業を行っています。また、それらの知識は自分を守る知識ともなり、将来、自分の子どもをはじめとする家族を守る知識にもなる、ということをお願いしています。

学生達の十年後十五年後を想像しながら、今関わっていることが繋がっていくように、心を込めて対応していきたいと思えます。よろしくお願ひします。

私が学生に伝えたいこと

ところで、学生達には学習を自分探しの旅として楽しんでもらいたい。学生達は二つの実習を積んで確実に成長している。また、自信となり輝いている。今後も、学びの中から自分が輝くことと共に、卒業後の生き生きした姿を目指して最高の学びをこの短期大学でしてほしい。そのためにも本学の教職員として、最高の環境を整える努力をしたい。

私の願い



武村 順子
(現代ビジネス科)

武村順子と申します。医療用語、感染と免疫、患者論、健康と疾病、医療倫理、看護概論、子どもの保健Ⅱなどの教科を担当し、現代ビジネス科医療事務・医療秘書コース二年の主任をさせて頂いています。



柳田 健太
(現代ビジネス科)

現代ビジネス科の柳田健太です。講義ではWeb演習、情報検索演習、情報処理論、販売学総論など情報に関する科目を中心に担当しています。

本学に就任する前は、学校の非常勤講師、営業、派遣のアルバイトを掛け持ちしながら生活をしていました。そこで感じたことは、「仕事が与えられた時には組織の一員として働いているけれども、それ以外のところでは組織の仕事に携わることのできないものどかさや心苦しさ」です。だから今本学で二人の専任講師として組織の一員として働いていることに本当に喜びを感じています。

そんな私が学生に伝えたいことは、個人で何かを成し遂げるスキルの学びだけではなく、組織の中で何ができるのか、どう行動すべきか、そしてそれによって得られる組織人として生きていくことの喜びです。二年という短い期間の中で精一杯の努力をしていきたいと思えます。未熟な点が多々ありますが、どうぞよろしくお願ひ致します。

みんな違ってみんないい！



吉村 久美子
(清武みどり幼稚園)

初めまして。本年度から宮崎学園短期大学及び附属清武みどり幼稚園にお世話になっております吉村久美子と申します。

本園の子どもたちは、みんな元気一杯で、話すことが大好きな子どもや聞くことが上手な子ども、運動することが得意な子ども、静かに本を読むことが好きな子どもと、本当に様々な個性をもっています。

童謡「咲いた咲いたちゅうりっぷの花が、並んだ並んだ赤白黄色、どの花みても綺麗なな」の「ちゅうりっぷ」の歌は、春になって色とりどりに咲いた花壇の様子を歌ったものですが、赤

が一番綺麗だとか、白が一番綺麗だとかいうのではなく、どの花もみんな綺麗で二つの花が綺麗に咲いた時に花壇全体も綺麗に感じるということを伝えたいです。

本園の保育目標「きまりよく、なかよく、ありがとう」の根底には、この考え方があって考えています。子どもたち一人一人が、友だち一人一人を大切に、それぞれの持ち味を活かし合った時に、初めてクラスが輝き、それぞれのクラスが輝いた時に、園全体が輝きます。

みんな違って みんないい！
このことが大切にされる幼稚園を目指し、職員と保護者、そして地域の力もお借りしながら園経営を進めているところです。
是非一度、お立ち寄りくださいませんか。
お待ちしております。

興味を惹かれるその時、
を作りた



渡邊 尚孝
(専攻科音楽療法専攻)

はじめまして。本年度より勤務しております渡邊尚孝と申します。福祉・医療の長い現場経験を基に教師としての道を歩み始めました。どうぞよろしくお願ひします。

臨床心理士の職種を生かし、心理学や教育相談関連の科目を担当しておりますが、将来を担う若い人たちに伝えたいことは沢山ある中で、その援助手法に苦心しています。本学の先生方は学生のニーズを的確に把握し柔軟に寄り添っておられるので、学ばせて頂きながら、私なりの教育実践が形になって行くよう努力を続けたいと思います。

さて、今年のNHK大河ドラマ『花燃ゆ』は幕末の長州藩が舞台です。幕末の志士たちを支えた吉田松陰の教えには「人賢愚ありといえども各々二の才能なきはなし 湊合して大成する時は必ず全備する所あらん（人には能力の違いはあるけれども、誰にも長所はあるものである。その長所を伸ばしていけば必ず立派な人になれるであろう）」とあり、とても好きな言葉です。学生のうちに様々な経験をして、自分は何が好きなのか、何が得意で何が苦手なのかなどを自覚し、長所を伸ばしてゆくことは大切だと思います。また、周囲に惑わされず、強い意志を持ち、自らを「狂愚」と名乗った松陰はどのような人だったのか、とても興味があります。私は四十代に入ってからようやく歴史が好きになりました。特に幕末史はアニメや映画の影響を受けた友人らが好む話題であるため、最近の読書や旅行でテーマの一つとなっています。

過去の歴史をどう捉えるのか。何事も答えは一つではありませんが、興味を持った時がその時期。学ぶに「遅い」ということは全くないけれども、若いうちに様々な学び方を知ることとはとても有意義です。授業の中でも

興味関心を惹く材料や手法を活用し、学生が自ら考えつつ学べるよう、工夫を重ねていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

よろしくお願ひします



河野 豪
(教務課長)

平成二十六年四月から教務課に勤務しております。河野豪と申します。どうぞ、よろしくお願ひします。簡単に自己紹介させていただきますと、大学を卒業後、一年ほど、新聞社に勤務した後、進学塾講師を七年間しております。その後、宮崎学園に採用になり、今年で二十三年間勤務しております。教務の仕事は、初めてですので、周りの教職員の方々の助けをいただき、業務に励んでおります。

短大の学生は、実習、教員免許状取得、資格取得等、多忙な学生生活を送っています。一生懸命の姿を見る度、感動を覚えます。私は、教務の仕事を通して、学生の目標実現のために、修学しやすい環境を整え、全面的に支援していきたいと思っています。学生が自己目標を実現し、全員卒業できる様に頑張っていきたいと思ひます。

日本一の地方短大を
目指す入試広報



高山 正和
(入試広報部次長)

平成二十六年四月から入試広報部に勤めている高山です。伝統ある本学を日本一の地方短大にと旗印を掲げ、自分に何ができるのか暗中模索の毎日です。

小学校の勤務が二十九年間、教育委員会等での行政事務局勤務が五年間、青島青少年自然の家勤務が三年間で定年退職し、昨年度は、宮崎県文書センターの嘱託職員の仕事をしました。どの職場でも、良好な人間関係の中で楽しく、充実した仕事をすることができました。お世話になった皆様には、今も感謝あるのみです。

本学での入試広報の仕事は、全く初めて関わることとなります。河野部長のリーダーシップのもと、総勢五人の仲間と重責を果たそうと日々頑張っています。高校訪問や進学ガイダンス等を経験する中で、本学の建学の精神のすばらしさ、先輩方が脈々と受け継いでこられた伝統の重みをひしひしと感じています。日本一の短大を目指し明日も頑張ります。

よろしくお願ひします



森重 文一
(入試広報部次長)

本年度から入試広報部におります森重文一と申します。昨年度まで、宮崎学園高等学校におりました。学生の中には教え子もいて、いつもの笑顔を見ると、ほっとし、元気が出てきます。こちらに来て感じたのは、空気が新鮮で爽やかなことです。自然に囲まれ、樹木や草花が多く、季節や天気によつて森や木々の葉っぱが様々な表情を見せてくれます。それから忍ヶ丘から見ると夕陽と本館前の銀杏の美しさは格別です。また、時間をかけて周囲を巡ってみる機会がありませんが、ゆっくと散策してみたいと思っています。

こういう自然が多い場所好きな学問を学べる皆さんは、幸せだと思ひます。大学は、そういう皆さんをバックアップしてくれますし、入試広報部は、皆さんが成長する姿を多くの人達に伝えるのが大きな仕事です。本学のよさを伝えて、そこで学んでみたいと感じ、多くの人に入學してもいいと思ひています。



サークル活動紹介

「宮短、四年ぶりの

全国大会のステージ

専攻科音楽療法専攻 岡崎 美智子



合唱部

があるのではないでしょう。か？東北の詩人の宮沢賢治が作詩した作品です。本番では歌詞からくる言葉の意味を精一杯歌声で演奏しました。結果は「銀賞」。悔しい気持ちもありましたが、私たちは自分たちが満足のいく演奏ができました。宮崎学園短期大学・宮崎 Pissello Dolce 合同合唱団を応援してくださいました皆様、この場を借りて感謝を申し上げます。ありがとうございます。これからも歌がある限り歌い続けたいです。

私たち、合唱団は昨年の九州大会で後一点足りず全国大会への出場が出来ませんでした。今年は無事、全国大会への出場が決まり、部員一同喜びました。今年度、合唱団は自由曲に「無声慟哭」を歌いました。この自由曲の名前は一度は聞いたこと



「おもてなしの心で」

茶道部 部長

人園文化学園園文「23年 枇杷 琴乃



茶道部

私たち茶道部は、毎週水曜、図師先生のご指導の下稽古に励んでいます。茶道部の行事としては主に、宮崎大学茶道部との和菓子作り、夏のオープンキャンパスでのお茶のおもてなし、秋の忍ヶ丘祭の定例茶会、春の梅まつりのお茶のおもてなしがありました。

特に秋の忍ヶ丘祭の定例茶会では、部員たち一人ひとり、日々の稽古で培ってきた、お点前や美しい所作、そして相手を思い

やる、おもてなしの心を発揮することができました。

「吹奏学部平成二十七年

活動について」

人園文化学園園文「23年 石山 清徳



吹奏楽部

今年度、我々吹奏学部は大きな変化が二つありました。ひとつは、宮崎国際大学のメンバーとともに活動をしたこと、もうひとつは高齢者施設や福祉施設での学外演奏を中心に活動したことです。

部員も少なく、規模の小さな演奏しかできないのですが、演奏できるチャンスを頂くなど、

学内外を問わず多くの人に助けて頂きました。仲間と演奏することができ、我々の演奏を喜んで聴いて下さる方がいるということは、なんて素敵なことなんだろうと思います。

声をかけて頂ければ、どこにでも伺います。よろしくお願いします。

「文芸・漫画研究会の活動報告」

保育科一年C組 楠本 剣美



文芸・漫画研究会

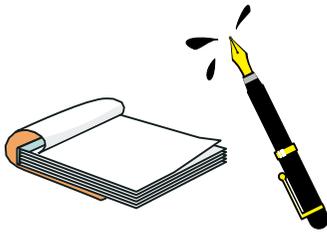
文芸部、または漫研と略される事が多い。活動内容としては、物書き（小説）と絵描きに分かれて、テーマに沿い、個人で一

つ作品を仕上げ、皆でアドバイスや感想を言い合ったりする。部員は皆個人的で、静かな者もいれば、騒がしい者もいる。一人として同じ人はいない。だからこそ、同じテーマでも、全く違う作品が生まれ、色々な世界観が見られる。

私達、文芸部の作品は秋の忍ヶ丘祭でのみ披露されるので、その時は、沢山の人に見られるのを願っている。

以上、文芸・漫画研究会の報告である。

と報告書風に書いてみました。が、この様な感じで楽しく、切磋琢磨しあい、お互いを思いやる楽しいサークルです。



「ひだまり部★」

人間文化学科学園文芸部 宮田 昌樹



ひだまり部

私たちひだまり部は、創部三年の若いサークルですが明るく楽しく活動しています。これまでの大きな活動として、「えれこっちゃん宮崎」での市民総踊りと、「24時間TV」のボランティアに参加しました。えれこっちゃん宮崎では、学長先生を始め沢山の人の協力ののもと、学生らしい若さ溢れる踊りを披露することができました。また24時間TVのボランティアでは、募金活動やイベント会場での援助など内容はさまざまでしたが、常に笑顔で楽しむことができました。

普段は学内でのレクリエーション活動を通して交流しています。大学生が本気で鬼ごっこをするのはとてもおもしろいです。ぜひ一緒に走り回りましょう！

「和装サークル」

保育科二年E組 森 春佳



和装サークル

着物に興味がある!! 着物を自分ですてみたい!! そんな熱い思いのある部員が揃ったサークルです。外部講師の納先生ご指導の下、週一回活動をしています。創部二年目になります。大きな目標イベント「全日本着物装いコンテスト」に向けて楽しくに

ぎやかに、時には真面目に厳かに活動しています。十二月に福岡で開催された大会に、学校対校の部（三人一組）に出場し、四位の成績を納めました。

今年は部員全員が成人式を向かえました。このサークルに入っていたおかげで、全員が振袖を自分で着れるまでになりました。卒業しても、このすてきな経験を生かして着物に触れる機会を作っていきたいです。

百人一首部

百人一首部部長

人文学部園芸学コース二年 増田 菜穂



百人一首部

私たち百人一首部は、創部一

年目、十一名全員が初心者の新しい部です。みんなで百首の暗記から始め、今は試合形式で楽しく活動しています。「何百年も昔を生きた人と想いを共有しあえる」それが和歌や古典の一番の魅力だと私は思っています。

入部にあたって、大層な動機など決する必要ありません。きっかけは「好きな歌がある」「知っている歌がある」それで十分です。あなたも好きな歌をもっと大切に見ませんか。

バレーボールサークル

初等教育科三年 谷口 千紘



バレーボールサークル

私達バレーボールサークルは

二十名以上の部員がいて、学科や先輩後輩関係なく毎週火曜日と金曜日の午後五時ごろから活動をしてきました。毎回、軽くアップを行いゲームをしています。経験者の学生もとても楽しくバレーをおこなっています。五月頃は経験者と未経験者の学生の力の差があり、なかなかラリーなどを続けることができませんでした。学生同士で教え合うことで徐々に上達して楽しくバレーをすることができるようになりました。また、サークル活動を行うことにより他のクラスの人などとも関わることでさまざまな経験をすることができま。初心者でも大歓迎ですので興味のある方はぜひ入部してください。



「Hey! Ryo! Sports!」 保育科二年D組 下別府 加奈



Hey!Ryo!Sports!

「Hey! Ryo! Sports!」は寮生のみで結成され、寮生全員で体を動かすことを深めています。大根抜きゲームやドッジボールなど先輩後輩関係なく体を動かすなかで、みんなが息を切らして座り込んだり、声を出して笑ったり、いつもの寮生活以上に寮生の仲が深まり楽しい時間です。毎回、一人ひとりの新しい一面を知り、学年、学科を越え気兼ねなく会話できる機会にもなりました。

今年度で閉寮し活動がなくなると寂しいですが、最後にたくさん思い出を残すことが

できました。

「卓球同好会の活動報告」

顧問 岩切 徹志



卓球同好会

卓球同好会のメンバーは、保育科二年の田代茜さんと保育科一年の松尾星さんの二名です。田代さんは、今年度も大活躍。四月宮崎地区卓球大会で一般女子A級シングルス優勝。五月宮崎市新人卓球大会・一般女子ダブルス二位。十一月宮崎市オープン卓球大会でA級シングルス優勝。十二月宮日杯卓球選手権では、シングルスとダブルスとも優勝し、見事二冠に輝きました。宮日にも写真入りでその活

躍ぶりが紹介されました。卒業後も県大会や国体等で活躍してくれることを期待しています。

「野球サークル」

保育科二年C組 宮下 鷹空



野球サークル

私たち野球サークルは、一年生のみで去年活動しました。楽しく野球ができるように、練習内容を工夫しました。試合などは、なかなかできなかったのですが、運動場で毎週月曜日練習しました。野球経験者、ソフト経験者も多く、初心者の友人には、教えるなどしていきました。来年も野球サークルは続いていると思うので、ぜひ初心者の

みなさんも経験者のみなさんも入って一緒に頑張りましょう。

「来たれ！フットサルサークル」

初等教育科 一年 谷口 千紘



フットサルサークル

私たちフットサルサークルはとても少ない人数ですが、みんなの予定の合う木曜日の放課後に活動を行っています。楽しく自由に活動することをモットーにしており、活動内容は主に実践練習で、パスの練習やゲーム形式による練習などを行っています。フットサルは本来屋内の競技なのですが、体育館が使用できないため、活動は屋外のグラウンドで行っています。メン

バーは皆、大好きなフットサルを楽しみながらプレーできることを、大変嬉しく思っています。メンバーが少ないながらもやる気があつて、にぎやかで楽しい活動になっています。もう少し人数を増やし、メンバーをそろえて、大会への参加も考えています。初心者の方も大歓迎ですので、ぜひ一度、練習をのぞきにきてください。一緒に楽しくフットサルをしましょう！



平成27年度オープンキャンパス 7・8・3月の3回開催!

平成 27 年度も 3 回開催いたします。

ミニ講座、製作体験、学生の作品展示や入試相談、お楽しみ抽選会など楽しいプログラムで毎回参加者から好評を頂いているオープンキャンパス。「出願者の9割近くがオープンキャンパス参加者」というデータをも、受験生がいかにオープンキャンパスを重要視しているかがわかります。

本学に興味をお持ちの方ならどなたでも大歓迎です。高校生のいる友人やお知り合いがいらっしゃったら、是非声をかけてみてください。



9:00~	受付開始
9:30~	オープニングセレモニー 学長挨拶 大学概要説明 卒業生からのメッセージ
10:20~11:00	ミニ講座 1
11:10~11:50	ミニ講座 2
12:00~	学食体験※
13:00	終了

※第1回と第2回に実施します。

無料送迎バス



JR 宮崎駅東口	8:40	8:55	10:25	
JR 南宮崎駅	9:00	9:15	10:45	
JR 清武駅	9:00~10:00の間随時			

※バスの時間は変更する場合があります。
必ず事前に本学ホームページやフリーダイヤル(0120-310-796)でご確認ください。
※3月13日のバス運行時間、プログラムは異なります。

■各地で入試相談会も開催します。

日程	時間	会場
6月6日(土)	13:00~16:00	本学会議室
	13:00~16:00	延岡市社会教育センター
	13:00~16:00	小林市中央公民館
	13:00~16:00	日南テクノセンター
6月7日(日)	10:00~13:00	宮崎市中央公民館
	10:00~13:00	日向市文化交流センター 都城市コミュニティセンター
7月5日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
8月2日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場
3月13日(日)	9:30~12:00	オープンキャンパス会場

しのぶ会だより

総会員数 1,8508名(平成27年2月現在)

さようなら ありがとう 忍ヶ丘寮

学生寮「忍ヶ丘寮」は平成27年3月をもって閉寮となります。

開学当初は、短大正門から出た東側、現在の宮崎国際大学校舎のところに木造平家の寮が建っていました。昭和51年度に現在の位置に新しい寮が建てられました。ここは以前は運動場だったところです。

多いときには127名の寮生が在寮していました。かつての2段ベットが二つの4人部屋も今ではエアコン付きの1人部屋ですが、最後の寮生は12名となってしまいました。車や電車で県内どこからでも自宅通学ができるようになり、入寮する学生は徐々に減ってきました。共同風呂、共同トイレ、門限等もあり自由気ままには生活できなかったでしょうが、卒業生の中には「今でも寮で暮らした仲間との絆が一番!!」と毎年会合を開いているグループもあります。今となっては同じ場所で、同じ時間を過ごした友との思い出は、一生の宝物となっていることでしょう。



現学生寮外観



旧学生寮外観



旧学生寮内

忍ヶ丘寮の思い出

忍ヶ丘の大家族

平成二十六年三月初等教育科卒業

寮長 佐藤 桃華



この家族と過ごせた時間は私にとって今も大切な宝物。

勿論、寮生活ならではの大変なことともたくさんある。だが、思い返すとその大変なこと以上に楽しいこと、嬉しいこと、幸せなことがたくさんあった。節分には、顔面に絵の具を塗り鬼になり、クリスマスには幸せを運ぶ大きなお腹のサンタになり、季節毎の行事にも皆で全力で取り組んだ。誕生日には、屋上で寮生皆がお祝いしてくれ、体調が悪いときにはずっと側で看病してくれた。お風呂の中で流れるプールをつくり先輩に怒られたり、夜中まで部屋で騒いで寮監さんに怒られたり、今となればそれまでも笑いあえる良い思い出。常に笑い声が溢れ、大きな優しさに包まれた忍ヶ丘寮。

「いつてきます。」「いつてらっしゃい。」「ただいま。」「おかえり。」そう言い合える家族。自分の置る居場所のある安心感。

「おやすみ。良い夢を」
毎晩交わしていた当たり前のこの会話。入学した四月。家から離れ不安だった私には、すぐに不安なんてかき消すくらいの心強い家族ができた。朝起きてから寝るまで共に過ごす。同じものを食べ、同じお風呂に浸かり、同じ屋根の下で寝る他人。他人であるはずが、友を超え、いつの間にか家族となる。見た目も性格も違う個性豊かな大家族だ。学校から帰って来ては、今日一日の出来事を報告し合う。共に喜び、共に笑い、共に悩み、共に泣く。喜怒哀楽全てを共有してきた。嬉しいことは何十倍にも辛いことは何十分の一にもしてくれ

正直、言葉として文章として、寮の思い出を、寮の思い出をどう伝え表現したらよいか難しい。書ききれないほどのあの思い出。言葉にできないほどのこの気持ち。寮がなくなっても寮への思いは寮を巣立った私たちの心に大切に残り続ける。社会人となった今でも、顔を合わせ、あの時のように、くだらない話

で笑い合い、辛いときにも支え合い、頑張る糧となっている。この場を借りてちゃんとのおお。ありがとう。

心からの言葉だけに言葉にすると全然足りない。だからこそ、何度も言おう。ありがとう。

あの家族と過ごせた寮生活は、今も私の大切な宝物。



卒業寮生によるお別れ感謝祭 (H27.2.28)

忍ヶ丘の思い出

元寮監 森本 正重



私は、平成二年四月より平成十三年三月の間、宮崎女子短期大学の寮監として勤務させていただきました。

つい先日、忍ヶ丘寮が閉鎖することを知り大変驚いています。

当時は、全室満室の百二十七名と沢山の寮生が生活していました。入寮を希望しても入寮できない学生さんが沢山いたこともよく覚えています。当時は、鹿児島県そして延岡出身の学生さんが主力でした。

一年のうちには、寮生が計画する沢山の行事がありました。入寮するとすぐに歓迎会、七月頃には野外での焼肉パーティー、そして七夕には駐車場での花火大会、十二月になるとクリスマスパーティー、次に寮の最大イベント『寮祭』がありました。各人それぞれの衣装で演劇をして楽しみました。その行事には、山口孝道先生、杉田仲先生も必ず見に来ていただきました。残念なことに両先生とも逝去されましたが、あの時の先生方の笑顔は心に深く残っています。

寮生には優秀な学生さんが沢山いました。各学科ともに成績優秀で学年トップ3はいつものことでした。そのことは寮の伝統としていつまでも続いていたものでした。また、就職についても教職員採用試験や国家公務員試験に合格したり、野村證券、東京海上火災保険に採用された人もいました。就職活動については当時の安楽就職指導課長より情報を先取りして寮の廊下に掲示したものです。

また、寮では集団インフルエンザが二、三年流行しました。熱が下がらなくて一日二回も病院へ連れて行ったり、夜中に救急病院へ行くこともありました。病院では点滴注射をする間廊下で待っていました。二本目の点滴を終えて帰る頃には夜が明けて明るくなっていくことも何回かありました。今になって思えば、あの頃は私も元気だったんだなあ。今ではとてもできません。

そんな生活でしたが、寮長さんは寮生全員をまとめてくださいました。本当に「苦労さまでした」。

また、寒くても、雨が降っても、台風であつても、朝早くから食事を作ってくださいました藤本さん、増田さんのことも忘れることができません。

今では寮監も食事も委託業者へと替わっています。

当時一緒に過ごした教職員の方々、そして今ご活躍の寮出身の卒業生の皆さん、寮は閉鎖されても当時の思い出は一生なくなりません。どうぞ今後もご健康で活躍くださることをお祈りしております。

寮閉鎖にあたって

元寮母 森本 信子

この度、十年間住み慣れた忍ヶ丘寮が閉鎖されることを知り、大

変寂しく又驚いています。

恵まれた家庭で生まれ育った学生さんが、いきなり寮という集団生活を送ることは大変だったことでしょう。寮生活は楽しいと思つた学生さん、また反対に寂しいと思つた学生さんもいたことでしょう。しかし、皆さんは、寝食を共にした集団生活を通して、人間として、社会人として強い精神力を身に付けて卒業されて行かれました。今となつては、全てが楽しい思い出となつていることでしょう。

皆さんが、いつまでもお元気で活躍されますことを祈つて寮閉鎖の所感と致します。

ありがとう忍ヶ丘寮

平成十三年三月音楽科卒業

中武 紋子 (旧姓 緒水)

三年前の春、非常勤講師として勤務することになり、久し振りに寮と短大をつなぐ橋を渡りました。桜の花びらが舞う橋を渡ると、学生の頃にタイムスリップしたかのような感覚になつたのを覚えています。学生の頃とは変わったものも多いけれど、暖かく漂う風や香りはそのまま、心が弾むような、何となく甘酸っぱいような懐かしい記憶がよみがえってくるようでした。

高校を卒業し、他県から入学し

た私にとつて、何もわからない宮崎での新しい生活は不安だらけだったと思います。でも、迎え入れてくれる先輩の明るさや優しさ、いつもどこからか聞こえてくる笑い声のおかげで、そんな気持ちには吹き飛ばされたのか、不思議と覚えていないのです。いつも笑いが絶えず、仲間と楽しく寮生活を送っている先輩を見て、私達もあんな風に過ごせるようになりたい！と思つていました。そして、その先輩の姿は受け継がれ、楽しい寮生活を送ることができ、二年間で沢山の思い出をつくることができました。

音楽科の仲間とは、試験前になると食堂で夜遅くまで勉強したり、毎日何時間もピアノを練習する友達に刺激を受け、追いかけるように練習室へ通つたりしました。いつも賑やかな寮生活、でも共同生活はいろいろ大変なこともあり、傍にいますぐ些細なことでも衝突したこともあつたけど、今では仕事のことを真剣に語り合える関係でいれる、その縁を結んでくれたのはやっぱり寮のお蔭だと思います。

まだ閉寮になることを知らなかった仲間へ今回のことを伝えると、すぐに沢山の思い出が集まりました。寮といえば：「一日中ずっと友達がいるから寂しくない。」「朝起きられない人のパンを取つておいてくれる気の利く友達がいる。」「〇号室には幽霊がいる噂が流れた。」「食堂に二台のテレ

ビシかないので、人気のあるドラマになるとほぼ全員集合、同じタイングで笑い、泣く。」「自分にご飯が盛れるので、大盛りにしていた。」「お風呂は共同、こんばんは、失礼します。」「お先に失礼します。」の挨拶。」「いろんな当番がある中で、トイレ掃除を交代してもらつたことがきっかけで、長年の親友ができた。トイレの神様で本当にいるのかも?」「学習室の窓に映る姿を見ながら、ダンスの練習に励んだ。その結果が実つてか、体育祭の全校ダンスになった。」「お味噌汁が美味しくて、今では思い出しながら真似して作っている。」「かけがえのない心友と出会えた。」それぞれに思い出深い寮生活。ここで沢山の良い仲間に出会い、支え合い、苦楽を共にした絆は深く、今でも会うとすぐに昔のような時間を過ごせる仲間と繋がっていることが、本当に幸せなことだと感じています。

こうして私達が良き思い出を残すことができたのも、両親のように毎日温かく見守り続けて下さつた寮監さんと寮母さんの存在があつてこそだと思います。時には厳しさに反発することもありました。今になって分かる寮監さんの気持ち、あの時には伝えられなかった気持ち、両親のようにいつも傍で支えてもらつていたことに、感謝の気持ちが溢れます。忍ヶ丘寮のお父さん、お母さん、本当にありがとうございました。

48年という長い年月、沢山の学



焼肉パーティー



寮食堂にて



クリスマスパーティー

生を見守り、社会へと送り出してくれた忍ヶ丘寮が閉寮を迎え、第二の我が家がなくなってしまう寂しさを寮生の誰もが感じていたと思います。誰かがいてくれる、背中をそつとなでしてくれる人がいる、手をさしのべ助け合い励ましてくれる人がいる、いつも人の温もりでいっぱいのお寮でした。今後も違う形で人のために在り続ける忍ヶ丘寮。これからも温かい場所であり続けてほしいと思います。
私達、寮生を見守り続けてくれた忍ヶ丘寮、本当にありがとうございます!!

同窓会から



昭和四十七年保育科A組卒業

代表者 下入佐 信子(旧・牟田)

和田 まち子(旧・伊藤)

さんを初め皆変わらず。楽しい時間でした。次回の幹事も決まり安心。また会いましょう。

小田 由美子(旧・松八重)

二年ぶりの同窓会。学生時代の色々な話が聞けるのも楽しみの一つ。今回も楽しい話をたくさん聞いて元気を貰いました。

安藤 真佐美(旧・竹林)

久しぶりに皆さんとお会いできて嬉しかったです。辛い時期を乗り越え参加する事で元気を貰いました。

深澤 真代(旧・三樹)

還暦を過ぎたとは思えない、皆さんの生き生きとした笑顔が見れて嬉しかったです。

小八重 弥生(旧・中津)

四十二年ぶりの顔もあり楽しい時間を過ごせました。また会えるのを楽しみに仕事頑張ります。

川越 恵子(旧・黒木)

とても楽しい時間でした。数々の知らなかった学生時代のエピソードに涙が出る位、大笑いしました。

田爪 ふみ代

二年ぶりの同窓会でしたが、またまた新しい顔があり、久しぶりでもすぐにあの時に帰れ話ができるのは本当に嬉しいですね。また元気に会いましょう。

入佐 信子(旧・牟田)

四十二年前の自分に戻りました。みんなそれぞれの人生を歩いてきて、それを分かち合うことが出来、参加して本当に良かったです。

上甕 洋子(旧・脇本)

楽しくてあつという間の同窓会でした。心身共に若返り次回も...と決めました。役員さんお疲れ様でした。

黒木 澄子(旧・金崎)

初参加で四十二年ぶりに会えた三人



が、準備に取り掛かると思わぬ楽しい時間を持つ事が出来ました。卒業アルバムを開いて名前を確認することから：そこにはキラキラ輝いている皆の顔が記憶の糸を紐解いていくうち、沢山の元気を貰いました。A組の皆有り難う。

和田 まち子 (旧・伊藤)

昭和四十八年初等教育科卒業

代表者 末永 睦子(旧姓・吉留)

横 光子(旧姓・徳留)



平成二十五年六月十三日(木)、宮崎観光ホテルにおいて、卒業から四十年、初めてのクラス会を行いました。学生から社会人となり、それぞれに人生経験を積み重ねてきた二十名が集まりました。四十年ぶりの再会ということ有二泊二日の日程を組みました。

また、短大の二年間公私ともにお世話になり、無知な私たちを卒業まで導いて下さった学生部長の大坪昭裕先生をお招きする事ができました。先生にはお礼もそこそこ卒業してしまつた私たちでしたので、改めてお礼を申し上げました。先生は八十六歳という高齢にもかかわらず、当時と全くお変わりなくお元気でした。資料を準備されてお父様(前理事長)や子供さんの事、一日一冊読書の事などを話して下さいました。そこには初教生として講義を受けている二十歳の自分たちがいました。その夜は大坪先生も宿泊され、夜遅くまで情報交換をしました。

翌日は一緒に思い出深い短大を訪問、山下学長先生から大学の近況について説明していただきました。今後も、校舎が増築され、初教は宮崎国際大学教育学部に移行し、大きく変わつていく事を知りました。その後、教室や図書館、校庭等を巡り、礼法の授業を参観させていただきました。懐かしい木々、人の温かさは変わつていませんでしたが新しい明教庵、図書館に四十年という月日の流れを感じさせられました。

大学を案内してくださつた学長先生をはじめお世話になつた先生方の温かいおもてなしに感謝の気持ちでいっぱいになりました。

大学を後にして宮崎ホテルに戻り、大坪先生を囲んで昼食会となりました。次のクラス会は平成二十九年、六十五歳時に開催し、それまでの三年間は「大坪先生を囲む昼食会」を開催する事に決まりました。今回、クラス会に参加した全員が再会を喜び合い、今後のクラス会や昼食会を楽しみにしています。

これまで年賀状などで「再会」を願いつつ四十年目にしてやっと実現した還

暦同窓会、これからも友情を深めながらより充実した有意義な人生を送つていきたいと思ひます。

最後になりましたが、大坪先生の御健康と大学の限りないご発展を心よりお祈り申し上げます。

平成十五年保育科C組卒業

代表者 川野 真代(旧姓・山下)



続けています。これからも続けていきたいなと思ひます。

卒業して十一年目：仕事、結婚、出産とそれぞれの環境の中、今でも集まれる仲間が居て幸せです。十年後も続けていきたいです。

浜山 ゆき子

十三年間の付き合いだけどもんなに会うといつもタイムスリップしたかのようになり、気もちは十代で話が盛り上がる楽しい会！！

美味しい食事と楽しい会話で、いつもあつという間に時間が過ぎていきます！これからもずっと続けていきたいな。

素敵な仲間乾杯★

藤元 円

集まる度にみんなと友達になれて良かったなあと感じる会。これからもたくさんおしゃべりして、たくさん笑つて、一緒に楽しい時間を過ごしていこうねー！

田嶋 理恵

卒業してから十一年！今でも時々みんなで集まつて楽しい時間を過ごしています。仕事の話、家族の話、育児の話と：話題はいろいろ！十年後はどんな話で盛り上がりつつあるのかな。

奥平 恵子

保育科在学中からしていた、メンバーの誕生会を卒業してから二〜三か月に一回集まつてみんなまで悩み事や気になること、どうでもいい話など毎回話は尽きず、盛り上がりつつあります。メンバーは十二人なかなか全員集まることは、難しく今回も二名は欠席でしたが、久しぶりに十名が集まりました。

前向きなみんなに元気をもらうこの会。色んな話が出来て、何でも相談できる仲間。この出会いと集いが私の日々を充電してくれます。みんなあり

がとう。

田爪 千春

あまり参加できない私ですが、皆に逢えるとなんだかホッとします。自分の話と共に感してもらえ、仲間がいるって本当に素敵だなぁと思います。皆にありがとう。

小畑 春葉

二カ月に一回のこの会、すごく楽しみにしています。仕事、家庭、子供のことなど話し、共感してもらったり、アドバイスもらったり、ストレス発散の場。これからもずっと続けていけるといいなあり。友達ってホント大事だなぁと思える会です。

押川 順子

県外に引っ越しても出産しても必ず参加しています。みんなと会うとまた明日から頑張ろうって気持ちになります！ 保育科で出会えた仲間たちは私の宝物です。

安齋 千晶

年を重ねるごとに、どんどん素敵な女性&頼もしい保育士&家族思いの母になつていくみんなのおかげで自分も成長させてもらってます。

上村 久美子

皆で集まると何でも話せて、あの頃に戻った気分(笑)。私にとって、パワーとフレッシュさをもらえる定例女子会みたい♪子育てママの話や保育士さんの立場からアドバイス!! 元気が湧いてきます♥二カ月に一回の楽しみでありホッと息抜きできる私の居場所はこちら

だと思っ。

園田 万里恵

短大時代からずっと続けてきたこの会!! 話の内容も十年でいろいろ変わってきたな。年々深い話になってきてるね(笑) 保育士の立場からママさんたちの意見についても参考になるなと思います。真面目な話から馬鹿みたいな話までいろんな話ができる仲間がいるのっていいなと思ひります。

川野 真代

昭和五十五年保育科D組卒業
代表者 倉永 裕子(旧姓・長友)



平成二十六年十二月二十二日、今年もまた昭和五十五年卒宮崎女子短大保育科D組同窓会が開催された。毎回

かつての私たちの担任矢口先生も参加して下さる中での総勢十四名での会であつた。

今回は「あれから三十五年やね」という言葉があちこちの席から聞こえた。三十五周年? もちろん先生からも「遂にみんなも私の年令に近づいてきたな!」と笑顔の一言。

私達、個人差もあるが誕生日がくる、前向き年令五十五才行け! 行け! Let's Go! 才になる年であつた。前進あるのみ。

最近では、仕事や親の介護、孫の世話の話等々、話題も多岐に渡っている。いつも同じ話をしているようで時の流れと共に少しずつ変化しているのがよく分かる。

それぞれの道で精一杯頑張っているそれがお互いの励みになっている。私事では、始めての幹事で不慣れのため、多くのクラスの友からいっぱい助けってもらつた。

もうひとりの幹事新名さんには難しいパソコンの担当で苦労をかけた。遠い福岡から参加してくれた方もいて本当に心からの感謝でいっぱいである。

みんな本当にありがとう! 今回の出席者のひとりひとりが卒業してからの三十五年の自分の人生の歩みをゆつくりとかみしめた尊い時間でもありひとときであつたと切に思ひます。

来年、再来年とみんなと元気で会いたい。私の人生の生きがいでもある年一回の同窓会。

今回参加できなかったD組のみんな、次回開催の時は、参加できるといいですね! 心からそう思ひます。
PS. あと五年で還暦: みんなと一緒に記念旅行に行きたいです。次会に提

案したいと思つています。一人一人がつながつてゆくそこから何が生まれてきた。それぞれの元気をこりからもつなげてゆこう。

昭和五十九年保育科A組卒業

代表者 齋藤 涼子



八月十六日に、昭和五十九年三月卒業、保育科Aの、同窓会を一心鮎光洋にて行つた。卒業して三十年余りの月日が流れ、今回で二回目である。

当日の出席者は、担任の見山先生をお招きし、クラスメイトが十三名、計十四名の会となつた。県外から、遠くは、長野、東京、横浜、県内は、都城、日向、宮崎、様々な所から駆けつけてくれた。

十二時三十分より会がスタート。懐かしい顔が集まり、一瞬で、皆、学生時代にタイムスリップ。学生時代の話や、近

況報告に華が咲き、皆、仕事や家庭と、様々な所でがんばっている。

同級生の中の一人は、パネルシアター研究会を立ち上げていて、皆の前で披露してくれた。卒業してからずっと続けているとの事なので、三十年余りとなる。とても上手く、ひき込まれていく。すばらしい活動だと感動した。見山先生も、一つの事を長く続ける事のすばらしさと、「二日、十回笑いましょう。」という事を話されていた。

その見山先生は、現在オペラの指導にあたられていて、総監督をされている舞台が、来年三月に市民文化ホールで行われる予定である。きらきらと輝く目で話をされる姿がとても印象的であり、ますますお元気であった。

今回の同窓会は三年後と約束し、笑顔で別れた。

平成九年保育科C組卒業
代表者 馬登 梨佳(旧姓・美原)



同窓会!! 久しぶりに再会するのは照れくさくすぐつたい気持ち。だけどクラスメイトの笑顔を見ると嬉しくなりますね。懐かしい話や今の話をして、あつという間の時間で楽しかったです。みんな素敵な大人の女性になっていました。活力もりました。ずっと繋がっていきたいです。

黒木 真紀子

卒業後、初めての同窓会、久しぶりに会えて楽しい時でした。昔話をしたり、近況の話をしたり、あつという間に時間がすぎたような気がします。今日会えなかった友達にもまた会えるといいな。

大田 幾子

慌ただしさに押し潰されそうになっていた頃に同窓会の連絡：指折り数えて楽しみにしていました。当日、久々の街中で久々の面々に会った瞬間、気分はあの頃に戻っていました。同級生と友達って本当にいいですね。たくさん元気をもらいました。

増田 志織

卒業以来、初めてクラスの同窓会に参加しました。同窓会をする。と聞いてから、皆どんなふうになっているかとても楽しみにしていました。何十年ぶりなのに、すくにいろんな話をして、あつという間の時間でした。まだまだ話足りなくて帰るのが惜しかったところで。学生時代の友達は、かけがえのない存在ですね。宝物です。

海野 真子

現在、東京の保育園で仕事をしているのですが、偶然にも宮崎に来ている際

に同窓会があり参加することが出来ました。変わっていない仲間の宮崎弁に癒された私です。共に毎日を頑張っているみんなの話のおかげで明日からもまた頑張ろうと心の糧になりました。次回を楽しみに頑張ります。

村野 美加代

久々の再会だった同窓会!! 時間がたつにつれて昔に戻ったみたいなの安心感があり、夢の様なことも楽し時間をお過ごしことが出来ました。素敵な会を本当にありがとう。また皆に会える日を楽しみにしています。

三宅 智美

久しぶりに会う友達ばかりで、懐かしい!の一言。皆、変わってなくて話も尽きず、あつという間に時間も過ぎてきました。美味しい料理に楽しい仲間：普段の育児疲れも吹き飛びとても楽しいひとときでした。また会える日を楽しみにしています。

森高 知子

本当に久しぶりに仲間と会ったけど、そんな時間を感じないくらいに気持ち短大の時に戻って、嬉しくて楽しい夜を過ごせた。やっぱり仲間はいいなあ〜!

福重 志穂

卒業後、初の同窓会出席となりました。久しぶりの再会でしたが、何の気兼ねもなく話に花が咲き、楽しい一時を過ごすことができました。このクラスの一員で幸せです!みんなまた会おうね!!

橋口 奈美

久しぶりに会う友達たち：話してみ

ると、みんな変わらなない：おいしいご飯になつかしい笑顔、尽きない話：話：楽しくて、たくさん笑いました!! また、みんなに会える日を楽しみに頑張ります!!

深見 優子

卒業以来なかなか会えなかった友達にもあう事ができました!! 再会に本当に感激でした。卒業して何年経つか数えるの汗が出そうでしたが、みんな変わってなくて!! 話している中学生時代に戻った気分でした。みんな元気で良かったです。クラスメイトって、やっぱりいいですね。

黒木 桂子

久しぶりに開催した同窓会! 誰一人として、卒業アルバムも開かず集合! だけど、待ち合わせ場所を合合わせる懐かしい短大時代の呼び名で「みんなわかる」と喜びの声。日頃の育児家事、仕事の疲れなんて見せず、楽しく、会話が途切れることもない時間でした。本当に開催して良かった。

馬登 梨佳

長い間会わなくても、あの頃に帰るのは瞬でした。みんなの変わらない笑顔に会え、幸せな時間を過ごすことができました。今度は、もっと集まるといいな。

豊丸 祐妃

祝

開学五十周年を迎えます。

昭和四十年にこの忍ヶ丘に保育科一学科で開学した宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）も、平成二十七年には、開学五十周年を迎えます。卒業生も二万人近くとなりました。それぞれの時代で色々な学生時代の思い出をお持ちのことでしょう。五十年の歴史が刻まれた校舎も、木造から始まり、今では冷暖房完備となりました。明教庵も二代目です。

開学五十周年記念事業の大きな取組として平成二十七年から新校舎建設が予定されています。更に施設設備の整った素晴らしい校舎が建ち、新しい歴史が刻まれていきます。

これからも、我が母校、宮崎女子短期大学・宮崎学園短期大学はこの宮崎の地に、清武の地に永遠に在り続けることを願っています。

多くの卒業生がピアノレッスンに励んだ現三号館もこの「忍ヶ丘」が届く頃には解体工事が始まっているかもしれません。

思いでの詰まった校舎をぶらりと訪れてみてはいかがですか。



完成予想図

お知らせ



クラス会を開きませんか？

同窓会しのぶ会では、卒業後も会員の皆様の交流の場としてクラス会を開催していただき、同窓会活動を盛り上げ、延いては母校の発展に寄与していただくことを目的にクラス会への援助を行っております。

クラス会を開催された場合は、是非援助金の申請をしていただきますようご案内いたします。援助金はクラス毎に年一回、一万円程度の援助となっております。十名以上で開催し、感想文(原稿用紙二枚程度)、参加者全員の住所録及びクラス会当日の写真、領収証(二万円以上)、代表者の連絡先及び援助金受取方法を添え、しのぶ会事務局へ申請してください。

なお、申請時にお寄せいただいた感想文・写真は、本機関誌「忍ヶ丘」の「同窓会から」のコーナーに掲載させていただきますので、ご協力・ご理解ください。

※クラス会援助金申請のために提出していただいた個人情報、同窓会運営の目的以外には使用いたしません。

しのぶ会連絡先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415番地

宮崎学園短期大学同窓会 しのぶ会事務局

TEL 0985(85)0146

FAX 0985(85)0101

ご利用ください!

- * この用紙は、宮崎学園短期大学（宮崎女子短期大学）卒業生用証明書申込用紙です。
- * 証明書が必要な場合は、この用紙をご利用ください。
- * 証明書申込みの際、現住所等に異動があった場合は、しのぶ会事務局にて住所等を変更しますので、異動通知を出す必要はありません。

- ※ 各項目は、必ずご記入ください。記入・押印漏れのある場合は、発送ができませんのでお気を付けください。
- ※ 学籍番号につきましては、不明の場合記入する必要はありません。
- ※ 内容確認をおこなう場合がありますので、必ず連絡できる住所・電話番号をご記入ください。

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数	
卒業証明書		保育士資格証明書		
成績証明書		司書講習終了証明書		
学力に関する証明書				
*証明書1枚につき300円		金額合計	円	
卒業年	昭和・平成	年	月	卒業
学科名等	科	組	コース	
学籍番号				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
現氏名	(旧姓)			(印)
現住所	〒			
電話番号	()			

(希望送付郵便 普通・速達)

証明書申込用紙

証明書名	枚数	証明書名	枚数	
卒業証明書		保育士資格証明書		
成績証明書		司書講習終了証明書		
学力に関する証明書				
*証明書1枚につき300円		金額合計	円	
卒業年	昭和・平成	年	月	卒業
学科名等	科	組	コース	
学籍番号				
生年月日	昭和・平成	年	月	日生
現氏名	(旧姓)			(印)
現住所	〒			
電話番号	()			

(希望送付郵便 普通・速達)

注 意 事 項

- * 証明書料金は、1枚につき300円です。返信用送料とともに切手か郵便為替に換えて封書にて郵送してください。
- * 証明書は、期日に余裕を持ってお申込みください。
- * 証明書申込先住所・返信用送料明細は、申込用紙裏面記載のとおりです。
- * お寄せいただいた個人情報に関しましては、目的以外には使用しません。

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙
に必要事項を記入して封書にてお申
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

*** 注意事項をよく読み証明書申込用紙
に必要事項を記入して封書にてお申
込みください。**

証明書申込先

〒889-1605 宮崎市清武町加納丙1415

宮崎学園短期大学 証明 係

TEL 0985-85-0146

返信用送料明細

証明書3枚まで普通郵便料 120円

速達郵便希望の場合 プラス280円

* 送料の過不足が出た場合は、証明書送付時に
通知します。

通 信 欄

異動通知は必ず出してください！

会員の皆様方の身上に異動が生じた時には、必ずこの葉書をお出してください。
また、お寄せいただいた個人情報につきましては、同窓会しのぶ会運営の目的以外には使用しません。

※今後あなたの住所・電話番号・勤務先等に変更等があった場合、また結婚して改姓・転居される場合には「」面倒でもこの葉書を利用してご連絡ください。
※同窓会の旧職員・先輩・後輩を問わず住所不明の方の消息や住所等をご存知でしたらぜひお知らせください。
※点線にそって切りとり、「」使用ください。

異動通知連絡カード

※どちらかで囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年	版	行	目
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	年	報	告	組
※②の場合連絡者名	卒年 学科	昭和・平成 科	年	組	

卒年	昭和・平成	年	科	組	(不明者No)
フリガナ	姓	旧姓	名		
氏名	()	()			
〒					
現住所		市外局番 ()	市内局番 ()	番号	
勤務先		市外局番 ()	市内局番 ()	番号	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない				

。宮崎県内在住者は県名を省略
。自営の方は社名・店名を記入

注意。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入

異動通知連絡カード

※どちらかで囲む 平成 年 月 日 報告

①本人の訂正・異動通知	掲載頁	年	版	行	目
②知人(本人以外)の訂正・異動通知	頁	年	報	告	組
※②の場合連絡者名	卒年 学科	昭和・平成 科	年	組	

卒年	昭和・平成	年	科	組	(不明者No)
フリガナ	姓	旧姓	名		
氏名	()	()			
〒					
現住所		市外局番 ()	市内局番 ()	番号	
勤務先		市外局番 ()	市内局番 ()	番号	
確認事項	同窓会しのぶ会からの発送に関して 希望する ・ 希望しない				

。宮崎県内在住者は県名を省略
。自営の方は社名・店名を記入

注意。「1丁目2番3号」は「1-2-3」のように記入

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

52円切手
をはって
ください

通信欄

郵便はがき

8 8 9 1 6 0 5

宮崎市清武町加納丙一四一五
宮崎学園短期大学内

宮崎学園短期大学同窓会

しのぶ会 行

52円切手
をはって
ください

通信欄

宮崎学園短期大学校歌

狩野 満 作詞
石田 良男 作曲

mf
う る わ し や き り し ま や ま を み は る か し か ー ぜ ー わ た
ゆ か し き や し ら く も と ー お く き ゆ る は て な ー ん ー ご く

cresc. *f* *rit.* *mf*
る し の ぶ が お か ー に ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う つ
の し お さ い き き ー て ま な び や た て り わ れ ら が ぼ こ う と

a tempo
ど い き て き ょ う こ そ ま な ー べ わ か き わ れ ら の ゆ め は は る
き う つ り わ か れ ゆ く と ー も わ か き わ れ ら の む ね に う た

1. *V* 2. *V*
け し ゆ は む あ あ わ れ ら が ぼ こ う わ れ ら が ぼ こ う

忍ヶ丘 第7号

- 【編集委員】 黒瀬美智子 後藤多津子 池田 敦子
戸敷 早苗 ウォーカー祐貴子
しのぶ会事務局
- 【発行日】 平成27年3月19日
- 【発行所】 宮崎学園短期大学
宮崎学園短期大学内 しのぶ会事務局
〒889-1605 宮崎市清武町加納丙 1415
TEL. (0985) 85-0146
- 【印刷所】 愛文社 株式会社



50th Anniversary

おかげさまで
宮崎学園短期大学は創立50周年
1965-2015

